令和８年度事務事業の点検・評価報告書（令和 4～7 年度事務事業）の受理について

令和８年 11 月 24 日付けをもって、令和８年度事務事業の点検・評価報告書（令和 4～7 年度事務事業）を別紙のとおり受理したので報告する。

令和８年 12 月１日

丸亀市議会議長　多　田　光　廣

㊞

8 教総第 1781 号

令和 8 年 11 月 24 日

丸亀市議会

議長　多　田　光　廣　様

丸亀市教育委員会

教育長　末　澤　康　彦　印

令和 8 年度事務事業の点検・評価報告書（令和 4～7 年度事務事業）について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、令和 8 年度事務事業の点検・評価報告書（令和 4～7 年度事務事業）を別紙のとおり提出します。

# 令和８年度

# 事務事業の点検・評価報告書

（令和 4～7 年度事務事業）

丸亀市教育委員会

# 目　　次


１　制度の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
２　点検・評価の対象と方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
３　点検・評価の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
４　教育委員会事業の点検・評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
Ⅰ　心豊かなこどもが育つまち
1　子育て支援・少子化対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・　4
2　こどもの教育・保育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
Ⅳ　健やかな笑顔ひろがるまち
11　スポーツの振興と健康づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
12　文化芸術・生涯学習の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
13　人権尊重・多文化共生社会の実現・・・・・・・・・・・・・・・　13

## １　制度の概要

平成 19 年 6 月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は毎年、委員会に係る事務事業の点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付したうえで、その結果を議会に報告するとともに公表することが義務づけられました。

丸亀市教育委員会ではこれに基づき、平成 21 年度から毎年、前年度の事務事業に関する点検評価報告を行っております。本年度は、第二次丸亀市総合計画後期基本計画（令和４年度～令和７年度）の計画期間の終了を踏まえ、計画期間全体の達成状況及び今後の課題について、基本施策に連動した重点プロジェクトを第三次丸亀市総合計画の枠組みに基づき再整理したうえで、事務事業に関する「点検・評価報告書」を作成しました。

## ２　点検・評価の対象と方法

点検・評価の対象事業については、「第二次丸亀市総合計画」に重点的な施策と位置づけられている施策について、第三次丸亀市総合計画の枠組みに基づき再整理したうえで、以下のとおり施策評価を行っています。

【施策評価－1 次評価】

基本施策ごとに、各施策を所管する部長が、成果指標の進捗度など施策全般を踏まえて、計画期間全体を通じた達成状況について 5 段階の自己評価を行いました。また、担当部長が考える評価の根拠及び今後の課題についても記載しています。

【主要施策の現状・課題】

基本施策ごとに、各施策を所管する課長が、成果指標の進捗度など施策全般を踏まえて、主要施策の現状と課題を記載しています。

## ３　点検・評価の構成

丸亀市の総合計画に沿って、主要な施策の「目指す未来の姿」、「成果指標の推移」により「施策評価」、「主要施策の現状・課題」として評価を行っております。

また、「成果指標の推移」にあります「目標値」は、当初からの目標値ですが、達成した場合は、更に目標値を修正して２段表記にしており、上段が修正後の「目標値」となります。それらを参考に「学識経験者の意見」として、教育委員会附属機関の委員等の方にご意見をいただいています。

## 評価の見方

【施策評価・事務事業評価】

| 評価 | |
|---|---|
| A | 計画を大きく上回る成果が出ている |
| B | 計画をやや上回る成果が出ている |
| C | 計画どおりの成果が出ている |
| D | 計画をやや下回る成果となっている |
| E | 計画を大きく下回る成果となっている |

学識経験者　　名簿　　（敬称略）

| 所　　属　　等 | 氏　　名 |
|---|---|
| 丸亀市放課後子どもプラン運営委員会委員長（四国学院大学教授） | 野崎　晃広 |
| 元丸亀市住宅課長 | 逸見　篤 |
| 元丸亀市立中学校長会会長 | 香川　隆博 |
| 元丸亀市立小学校長 | 北村　博司 |
| 丸亀市少年育成センター運営協議会委員長 | 木下　眞一 |
| 丸亀市学校給食センター運営委員会委員長（香川短期大学教授） | 垣渕　直子 |
| 幼児教育アドバイザー　元幼稚園長 | 和泉　美樹代 |
| 丸亀市文化財保護審議会会長 | 國木　健司 |
| 丸亀市社会教育委員の会会長（東海大学特任講師） | 大村　隆史 |
| 丸亀市スポーツ推進審議会会長（四国学院大学副学長） | 漆原　光徳 |

［**参考**］地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# ４　教育委員会事業の点検・評価

| | | |
|---|---|---|
| 基本方針 | Ⅰ | 心豊かなこどもが育つまち |
| 基本施策 | 1 | 子育て支援・少子化対策の推進 |

目指す未来の姿

【短期】（計画期間内）
・結婚や出産を望む人の希望が叶い、妊娠・出産期から子育て期までのライフステージごとに、安心してこどもを産み、地域全体で大切にこどもを育てている。

【長期】（将来像）
・「このまちでこどもを産み育てたい」と思えるまちになっている。
・こども、若者が未来に希望を持ち、健やかに育っている。

成果指標の推移

| 指標内容 | 基準値 2020 | 進捗状況 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 目標値 2025 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **No.８ 放課後児童対策の充実** | | | | | | | |
| 青い鳥教室の待機児童数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人を維持 |

【施策評価－１次評価】

| 担当部局 | 評価 | 担当部長が考える達成状況の評価と改善の方向性 |
|---|---|---|
| 教育部 | C | 待機児童数については4月時点でゼロを維持するとともに、幼稚園・保育所・こども園の統廃合や発達障がい児支援など、計画した取組は概ね着実に進めることができた。また、放課後留守家庭児童会においても受入体制の充実により、安定した運営を図ることができたことから、総合的にC評価と判断した。一方で、10月時点の待機児童数及び一時預かり事業実施箇所数は目標に達しておらず、保育ニーズの増加に対する受入体制の確保が引き続き課題である。このため、保育士及び支援員の確保・定着対策を強化するとともに、施設の適正配置や保育サービスの充実を進め、持続可能な子育て支援体制の構築に取り組む。 |

学識経験者の意見

（教育・総務課）
放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）については、利用児童数の増加に対応し今後も全学年の受入れを継続できるよう、計画的な施設整備を進めていただきたい。また、支援員の処遇改善や業務負担の軽減を図り、人材の確保に努めるとともに、研修の充実などを通じてスタッフの資質向上を推進していただきたい。
放課後子供教室については、郡家校区での新規開室や実施日数の増加により活動の充実が図られているが、スタッフの高齢化や未開室校区の解消といった課題もあることから、引き続き担い手の確保に努めていただきたい。また、一部で実施されている放課後子供教室と青い鳥教室との連携について、さらなる推進を図っていただきたい。

【主要施策の達成状況・課題】

| 担当課 | 担当課長が考える達成状況と今後の課題 |
|---|---|
| 教育・総務課 | 放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）は、全学年受け入れに対応できるよう支援員の確保や施設整備に取り組み、期間内において待機児童は発生しなかった。しかしながら、共働き世帯の増加等に伴い、利用児童数は今後も増加することが見込まれるため、支援員の処遇改善による安定的な人材確保と、受入環境のさらなる整備・充実を推進していく必要がある。 |

| | | |
|---|---|---|
| 基本方針 | Ⅰ | 心豊かなこどもが育つまち |
| 基本施策 | 2 | こどもの教育・保育の充実 |

**目指す未来の姿**

【短期】（計画期間内）
・学校では、互いを思いやりながら共に成長できる学びの環境づくりが進み、社会全体でこどもを育てる環境が整ってきている。
・学校教育施設の整備や食育の推進などの取組が進むことで、こどもたちがより安全で気持ちよく学べる場が充実してきている。

【長期】（将来像）
・すべてのこどもたちが安心して過ごし、学べる場が保障され、自ら未来を切り拓く力と社会で共に生きる力が育まれている。
・学びの積み重ねを通じて、地域や社会の担い手となるこどもたちが育っている。

**成果指標の推移**

| 指標内容 | 基準値2020 | 進捗状況 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 目標値2025 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **No.１ コミュニティ・スクールの推進** | | | | | | | |
| 学校が楽しいと感じる児童生徒の割合（①小学生、②中学生） | ①91.5%<br>②89.4% | ①91.7%<br>②89.7% | ①91.6%<br>②88.1% | ①92.3%<br>②90.0% | ①93.1%<br>②87.0% | ①91.8%<br>②89.2% | ①93%<br>②91% |
| 地域との関わりがあると感じる児童生徒の割合(①小学生②中学生) | ①66.9%<br>②43.4% | ①67.5%<br>②45.0% | ①73.7%<br>②46.8% | ①75.2%<br>②47.1% | ①60.6%<br>②38.2% | ①59.3%<br>②39.3% | ①70%<br>②50% |
| **No.２ ＧＩＧＡスクール構想の推進** | | | | | | | |
| 授業が分かると感じる児童生徒の割合(①小学生②中学生) | ①90.5%<br>②84.4% | ①91.9%<br>②82.6% | ①91.3%<br>②80.9% | ①90.7%<br>②83.3% | ①89.5%<br>②79.0% | ①89.5%<br>②81.0% | ①92%<br>②86% |
| **No.３ 教職員の働き方改革の推進** | | | | | | | |
| 教職員の時間外勤務時間の削減率 | ― | 10% | 13% | 20% | 23% | 35% | 25% |
| **No.４ 学校施設の環境整備** | | | | | | | |
| 長寿命化改修等の整備件数（計画期間中の累計） | ― | 0件 | 1件 | 0件 | 0件 | 4件 | 7件 |
| **No.５ 学校給食による食育の充実** | | | | | | | |
| 地産交流会の実施回数 | 11回<br>(2019) | 14回 | 13回 | 12回 | 12回 | 14回 | 12回 |

【施策評価－１次評価】

| 担当部局 | 評価 | 担当部長が考える達成状況の評価と改善の方向性 |
|---|---|---|
| 協働推進部 | D | 少年教育事業において示されている課題は、長らく社会教育団体の支援という形態での施策展開が継続され、社会環境の変化に的確に対応しきれていない結果であると認識している。この点については、市内の児童等が幅広く体験活動等に参加できる仕組みに見直すことで、こどもたちの自己肯定感や自主性を涵養できる取組へと見直しを進めていくこととしている。 |
| 教育部 | C | 学校施設整備や放課後留守家庭児童会の運営、学校ICT環境の充実、食育の推進など、各分野において計画的な取組を進めることができた。特に、青い鳥教室では待機児童を発生させることなく安定した運営を継続するとともに、ICT環境の改善や地場産物・有機食材を活用した取組により、教育環境及び食育の充実が図られたことから、総合的にC評価とした。一方で、学校施設整備やコミュニティ・スクールに関する一部指標は目標値に達しておらず、引き続き計画的な事業推進と地域との連携強化が課題である。このため、安全で良好な教育環境の整備を着実に進めるとともに、ICTの効果的な活用や地域と連携した学校運営の充実を図り、教育効果の向上に取り組む。また、食育については地場産物等の活用をさらに推進し、安心・安全な学校給食の提供に努める。 |

学識経験者の意見

（教育・総務課）
　学校施設の整備については、計画に基づき長寿命化改修等を着実に進めている点は評価できる。整備件数は当初計画を下回ったものの、健全度調査の結果や物価高騰などの状況変化に対応したものである。今後も実情に応じて計画を適切に見直しながら、子供たちの安全・安心な学校生活に支障が生じることがないよう、教育環境の維持向上に努めていただきたい。

（学校教育課）
　「人づくり石垣プロジェクト」により、学習指導に係る人的環境や不登校児童生徒への支援体制の充実が図られている。一方、「授業が分かると感じる児童生徒の割合」が目標値に達しておらず、児童生徒一人一人の学習状況等の理解に基づく個別最適な学びの実現が求められる。
　また、「地域との関わりがあると感じる児童生徒の割合」が停滞しており、学校・地域連携の実感が十分に児童生徒に届いていない点が課題である。児童生徒の「自立と共生」を育むためにも、児童生徒が地域と主体的に関わる活動を小規模・高頻度化したりすることにより、地域の一員として役割を実感できる仕組みを整えていただきたい。

（学校教育課少年育成センター）
　補導員を伴った積極的な補導活動や関係機関等との連携により、少年の犯罪予防・非行防止に努めている。また、相談業務の充実により、問題解決の糸口を見出せるように一人一人に寄り添った相談に努めている。さらには、中学校のあいさつ運動やいじめ防止キャンペーンに取り組むなど、啓発活動にも力を入れている。

（幼保運営課）
　就学前施設は生涯にわたる人間形成の「生きる力の基礎」を育む重要な役割を担っており、質の高い教育・保育を目指し、現状を見つめ、各々の課題に応じた研修を実施し研鑽に努めている。
　幼児教育・保育においては，小学校以降の教育への連続性を意識し、円滑につなげていくために、家庭・地域社会・就学前施設の三者がバランスを保ちながら，全体として豊かなものになっていくよう、それぞれが力を発揮し総合的に充実させていくことが重要である。そのためにも、乳幼児教育を総括的にサポートする体制を整えるとともに、地域・家庭との連携を深め、就学前施設における教育・保育を発受信しながら、さらに質を高めていただきたい。

（まなび文化課）
　教育行政は、社会教育関係団体の求めに応じて必要な援助を行うことが社会教育法によって定められている。この点において、1次評価の前半部分は成果ともみることができる。少年教育事業の展開については、社会教育関係団体への支援を基礎としつつ、自然環境から通信技術まで幅広い社会の変化を踏まえた新たな学習機会の創出を通じて、これまで見落とされてきた層の子どもたちにも届けられるような少年教育事業の構想を練っていくことが期待される。

（学校給食センター）
　安全安心な学校給食を提供するため、給食センター4施設を維持管理し、適切な衛生管理を図るとともに、異物混入や食中毒対策など食の安全性を確保しながら、子どもたちに正しい食に関する知識と望ましい食習慣を育めるよう事業を進めていることが、丸亀市学校給食センター運営委員会で報告されている。また、望ましい食習慣の形成と、日本の伝統的な食文化である「和食」の継承を目的とした米飯給食や、有機農産物を利用した有機給食などに取り組み、さらには食品残渣を堆肥化し、地産農家へ配布して循環型社会の形成に取り組めた。また、学校給食費は、令和4年12月から継続して無償化を実施していること、令和5年度から給食費等支援補助金制度を設け、特別支援学校に通う児童生徒及びアレルギー等により弁当を持参している児童生徒に補助金を交付していることは評価に値する。

【主要施策の達成状況・課題】

| 担当課 | 担当課長が考える達成状況と今後の課題 |
|---|---|
| 教育・総務課 | 学校施設については、計画に基づき整備を進め、過去5年間で4件の長寿命化改修等の整備を実施した。一方で、健全度調査による整備内容の変更や物価高騰等の影響により、当初予定していた7件の整備には至らなかったことから、実情に即した計画への見直しと着実な事業推進が課題となっている。 |
| 学校教育課 | 中学校のタブレットPCが刷新され、ネット回線を高速化したことで、学校において生徒がPCを活用する機会が増えたことが、授業が分かるという中学生の増加につながってきた。各小中学校の業務改善が進み時間外勤務の削減が進んできたが、これまで以上の削減を推進していきたい。 |
| 幼保運営課 | 幼稚園・保育所・こども園の職員の資質向上及び施設間の連携強化に向け、幼児教育ブロック会での研修や公開保育、教育研究所や教頭等会が主催する各種研修への参加を通して、テーマや課題に応じた研鑽の機会の充実を図っている。また、小学校教育への円滑な接続を見据え、幼児期の学びの連続性に配慮した教育・保育の実践を継続することが求められる。 |
| まなび文化課 | 少年教育事業は、関係団体との連携のもと、文化芸術活動や自然体験活動を通じて集団活動に参加する機会を継続的に提供し、社会性や協調性、自主性を育む環境づくりを進めることができた。また、参加者同士や地域との交流を促進し、少年の健全育成に寄与することができた。<br>一方、少子化や子どもを取り巻く環境の変化により、参加者の確保や事業の継続的な実施が課題となっている。今後は、学校や地域団体との連携を強化するとともに、子どもや保護者のニーズを踏まえた魅力あるプログラムの充実や効果的な情報発信により、新規参加者の拡大を図る必要がある。 |
| 学校給食センター | 地元生産者と児童等が直接触れ合う地産交流会や有機給食などを実施し、食への感謝の気持ちや理解の促進に努めてきた。また、有機農産物を含む地場産物を活用した食育の推進を図るとともに、異物混入事故防止対策を強化し、安心安全でおいしい給食の提供に取り組んできた。さらに、新第二学校給食センターについては、令和7年10月に事業者選定を行い、同年12月に契約を締結した。今後は、令和8年12月からの工事着手に向けた準備を進め、令和10年4月開業を目指す。 |

| 基本方針 | Ⅳ | 健やかな笑顔ひろがるまち |
|---|---|---|
| 基本施策 | 11 | スポーツの振興と健康づくり |

**目指す未来の姿**

【短期】（計画期間内）
・多様なスポーツに気軽に参加できる環境が整い、こどもから高齢者、障がいのある人まで誰もが生涯スポーツを通じて交流し、地域に活気が生まれている。
・運動習慣の定着や食生活の改善など、市民の健康づくりが着実に進み、日常の中で無理なく健康に取り組める環境が整っている。

【長期】（将来像）
・部活動の地域展開を含めスポーツを身近に楽しめる環境が整い、あらゆる世代が心身ともに健康で、いきいきと暮らせる活力あるまちが実現している。
・健康寿命も着実に延び、市民が生涯にわたり元気に生活できる社会が定着している。

**成果指標の推移**

| 指標内容 | 基準値 2020 | 進捗状況 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 目標値 2025 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **No.42 小児生活習慣病予防対策の推進** | | | | | | | |
| 小児生活習慣病予防健診の二次健診受診率（①小学生②中学生） | ①59.1%<br>②48.7% | ①66.3%<br>②51.6% | ①61.5%<br>②44.4% | ①67.1%<br>②50.4% | ①56.6%<br>②35.7% | ①71.6%<br>②50.0% | ①65%<br>②55% |
| 肥満傾向児の出現率<br>（小学４年生①男子②女子） | ①15.5%<br>②12.5% | ①13.7%<br>② 8.7% | ①14.0%<br>②11.1% | ①12.1%<br>②11.9% | ①14.9%<br>②10.5% | ①15.7%<br>②10.4% | ↘ |
| **No.60 スポーツを通じた健康づくりの推進** | | | | | | | |
| 体育施設の利用者数 | 465,297人 | 541,822人 | 608,504人 | 649,261人 | 689,355人 | 651,915人 | 630,000人 |
| 生涯スポーツ参加者数 | 192,902人 | 189,385人 | 269,743人 | 273,818人 | 207,353人 | 209,817人 | 340,000人 |

【施策評価－１次評価】

| 担当部局 | 評価 | 担当部長が考える達成状況の評価と改善の方向性 |
|---|---|---|
| 協働推進部 | C | スポーツを通じた健康づくりの推進において、生涯スポーツ参加者数の減少については、イベント企画の変更によるところが大きいが、より多様な主体の参画を得られるイベント内容へと、また、参加者の意欲、主体性を重視しながら、市民の健康づくり、健康増進への意欲を喚起する意図を持って取組を見直し、健康づくりの推進にあたっている。一方で、市スポーツ協会の取組を含めた成果指標への見直しなど、健康づくりの成果の捉え方を検討する必要がある。<br>スポーツを通じたにぎわいづくりの推進においては、丸亀市総合運動公園の多様な機能を背景に、様々な規模のイベントや競技利用などにつながっており、本市のにぎわいづくりの推進に寄与していると考えている。<br>様々な機能を有することは、本市のスポーツ振興にとっての強みである一方で、老朽化等による施設改修、修繕費用も上昇する状況にあり、限られた財源のなかで、個別計画の進捗管理と修繕計画については、優先度の判断など、より慎重に対応する。 |
| 教育部 | C | 小児生活習慣病予防健診の二次健診受診率は小学生で目標値を上回り、中学生も基準値から改善するなど保護者の健康意識の向上による成果が見られる一方、肥満傾向児は微増傾向にあることからC評価と判断した。今後とも健診受診の促進を継続する。 |

学識経験者の意見

（学校教育課）
　学校での啓発の成果もあり、小児生活習慣病予防健診の二次健診受診率は、小中学生いずれも基準値を上回った。今後とも体育科（保健体育科）の保健領域の指導を充実させ、いっそう生活習慣病予防の啓発に努める必要がある。小学4年生男子の肥満傾向児の出現率は高止まりしている。学校の休憩時間に外遊びの声かけを継続するなど、児童が身体を動かす機会を確保するよう努めてほしい。

（スポーツ推進課）
「学校施設長寿命化計画」に伴う改修工事等により、一部の学校体育施設が利用できない状況となっているが、当該施設を利用していた各団体に対し、他の学校体育施設への案内や団体間での共同利用を促進した結果、利用者数に大きな変動が生じていないことは評価できる。
　一方で、利用報告を紙媒体で行っていることや、使用料の支払いを銀行窓口で行っていることについては、市職員及び利用団体双方の負担となっている。今後は、オンライン手続き、キャッシュレス決済の導入などデジタル化を推進し、業務の効率化と利用者の利便性向上に努められたい。

【主要施策の達成状況・課題】

| 担当課 | 担当課長が考える達成状況と今後の課題 |
|---|---|
| スポーツ推進課 | スポーツを通じた健康づくりの推進において、体育施設の利用者数は、前年度からの飯山総合運動公園体育館の長寿命化に伴う大規模改修による休館及びテニスコート面の改修などによる利用休止のなか、様々な体育施設を有する強みにより目標を上回った。<br>一方、生涯スポーツ参加者数は、「香川丸亀国際ハーフマラソン大会」の参加者数は1万人を超えコロナ禍前の水準までに回復したが、笹川スポーツ財団による住民総参加型イベント「チャレンジデー」の終了に伴い、2024年度から本市独自の「チャレンジウィーク」に移行し、参加者数重視の取組から、様々な主体による企画イベントを通じて、参加者の意欲、主体性を重視しながら、市民の健康づくり等に対する意識醸成を図る取組へと企画意図を変更している。<br>引き続き、健康づくりにおけるスポーツの有用性を発信しながら、様々な主体による取組を通じて、日常における継続した運動習慣の促進につなげる。<br>スポーツを通じたにぎわいづくりの推進として、中・西讃の中核施設である丸亀市総合運動公園内でプロ野球フレッシュオールスターゲーム開催や2023年度に完成したアーバンスポーツパーク、第2多目的広場、屋根付き広場の利用もあり、運動公園の利用者数は大きく目標を上回った。<br>今後も引き続き、多くの方が集うイベント開催や大会利用を推進しながら、丸亀市総合運動公園の多様な機能を活かし、中・西讃の中核施設としての施設評価の維持・向上に努める。<br>体育施設等の環境整備については、個別計画による位置づけを重視しているが、利用者意見も踏まえながら、緊急性も考慮し、それぞれの施設の環境整備に努めている。引き続き、個別計画を念頭にしつつ、優先順位をつけて整備にあたる。 |
| 学校教育課 | 小児生活習慣病予防健診の二次健診受診率がかなり高くなってきた。これは、学校の働きかけにより、保護者の健康への関心が増えてきたことが原因の一つである。また、肥満傾向児は微増傾向にあるので、今後も児童生徒への指導及び啓発を充実させていく必要がある。 |

| 基本方針 | Ⅳ | 健やかな笑顔ひろがるまち |
|---|---|---|
| 基本施策 | 12 | 文化芸術・生涯学習の推進 |

**目指す未来の姿**

【短期】（計画期間内）
・丸亀市民会館や丸亀市猪熊弦一郎現代美術館など、市民が気軽に文化や学びに触れ、本物の芸術や良質な知に出会える環境が整い始めている。
・文化芸術と生涯学習の取組が広がり、年代や立場を問わず参加しやすい文化活動や地域の学びが活性化するとともに、その成果を地域のために生かす動きも芽生えている。

【長期】（将来像）
・誰もが文化や学びにアクセスできる環境が整い、文化と生涯学習が日常の暮らしに根づいている。
・年齢・障がい・環境に関わらず、多彩な文化や学びが世代を超えて受け継がれ、その知識や経験を地域に確実に還元することで、豊かに暮らせる活気に満ちたまちが実現している。

**成果指標の推移**

| 指標内容 | 基準値 2020 | 進捗状況 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 目標値 2025 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **No.52 丸亀城の石垣整備** | | | | | | | |
| 丸亀城の石垣整備 | ― | 19% | 23% | 26% | 35% | 44% | 45% |
| **No.53 文化財の保存・活用** | | | | | | | |
| 市指定文化財の修理件数（計画期間内の累計） | 5件 (H29～R2) | 2件 | 2件 | 4件 | 6件 | 7件 | 6件 (R4～R7) |
| 丸亀城天守入場者数 | 124,287人 (R1) | 61,890人 | 116,889人 | 124,978人 | 120,244人 | 115,772人 | 170,000人 |
| 資料館の入館者数 | 28,419人 (R1) | 26,399人 | 27,047人 | 22,703人 | 44,148人 | 24,937人 | 30,000人 |
| 笠島まち並保存センター・塩飽勤番所への来訪者数 | 5,809人 (H29～R1) | 1,471人 | 6,388人 | 4,302人 | 5,794人 | 8,138人 | 7,000人 (R5～R7) |
| **No.58 地域学校協働活動の推進** | | | | | | | |
| 地域コーディネーター養成者数 | 12人 | 10人 | 9人 | 3人 | 10人 | 0人 | 12人 |
| 家庭教育事業参加者数 | 3,125人 | 1,146人 | 1,794人 | 1,999人 | 2,218人 | 2,089人 | 3,500人 |
| **No.59 生涯学習機会の充実** | | | | | | | |
| 市民学級の参加者数 | 461人 | 556人 | 618人 | 750人 | 792人 | 228人 | 600人 |
| 生涯学習人材バンク登録者数（累計） | ― | ― | 55人 | 51人 | 45人 | 41人 | 100人 |

【施策評価－１次評価】

| 担当部局 | 評価 | 担当部長が考える達成状況の評価と改善の方向性 |
|---|---|---|
| 協働推進部 | C | 文化芸術の振興等に関する取組については、概ね目標を達成している。一方で、生涯学習に関する取組については、目標を達成することが叶わなかったが、第五次丸亀市生涯学習推進計画の改定作業を通して、課題へのアプローチは明確に示せている。<br>文化芸術、生涯学習の双方において示している社会的インパクト（長期的な変化や影響）を意識し、様々な施策、取組を遂行する。<br>生涯学習機会の充実において、図書館では団体貸出や電子図書の整備を通して、学校との連携強化やこどもたち等の読書環境の充実を図っている。また、庁内各課が発信したい社会課題への取組に対して、図書館の蔵書を併せて展示し、より深い学びにつなげる工夫を行い、情報拠点としての役割の充実に努めている。<br>一方で、長らく若年層の読書離れが課題として指摘されているが、幼少期から本、読書好きへの土台を築く地道な取組を意識し、継続することが重要であると考えている。 |
| 教育部 | C | 丸亀城石垣整備は概ね計画どおりに進捗し、笠島まち並保存センター等への来訪者数も目標を達成したものの、丸亀城天守及び資料館の入館者数が目標値に達しなかったことからC評価と判断した。今後は石垣復旧事業や文化財保存整備を着実に進めるとともに、文化財の魅力発信や活用の充実により来訪者数の増加を図る。 |

学識経験者の意見

（文化財保存活用課）

丸亀城石垣復旧事業、快天山古墳調査事業、本島町笠島伝統的建造物群保存地区保存修理事業を中心に、文化財の保存と活用に関する様々な事業が着実に進められており、文化財行政は概ね順調に推進されていると評価できる。

特に、丸亀城石垣復旧工事では、全国的にも例のない30mを超える高石垣の本格的な復旧が進められており、貴重な文化財を後世に渡り継承する重要な取組として評価したい。

快天山古墳においては、3号石棺の蓋の取り上げや発掘調査を進めるとともに、現地説明会などを通じて、成果を市民へ還元している点は大きな成果である。今後も石棺の保存対策を適切に進めながら、調査研究を継続し、将来の全体整備に繋げていただきたい。

笠島伝統的建造物群保存地区では、修理修景事業による町並みの保存に加え、選定40周年記念事業やシンポジウムを開催し、今後の保存と活用のあり方について広く議論する機会を設けることができたことは大きな成果である。今後も引き続き地域住民や関係団体との連携を深め、町並みの保存・活用の持続可能な推進に努められたい。

一方で、丸亀城天守入場者数や資料館入館者数は目標に達しておらず、さらなる文化財の魅力発信や活用の充実が求められる。今後は、丸亀城石垣復旧工事や快天山古墳調査などの成果を積極的に情報発信するとともに、学校教育や観光分野との連携を進めることで、文化財の価値への理解を深め、地域の活性化につなげていくことを期待する。あわせて、現存12天守を有する自治体や古墳時代の石棺材産出地を持つ自治体との連携事業や共同研究を実施するなど、文化財の価値を高める多角的な取り組みも期待する。保存と活用の両立を図りながら、文化財を市民共有の財産として将来に渡って継承する取組を推進されたい。

（まなび文化課）

目指す未来の姿（将来像）に記載された「誰もが文化や学びにアクセスできる環境」を達成するべく、家庭・学校・地域をつなぐ様々な学びの場が創出されてきた。他方で、これらの取組に関わる人々は固定化したり、数が少なくなったりと広がり方には余地が残る。生涯学習は行政主導ではなく市民主体で推進していくことで、つながりが生まれ、おのずと活動にも広がりが生まれていくと考えられる。次期計画の遂行にあたっては、参加者としての市民ではなく、協働する市民としての位置づけを意識し、施策を展開していくことが期待される。

【主要施策の達成状況・課題】

| 担当課 | 担当課長が考える達成状況と今後の課題 |
|---|---|
| まなび文化課 | 地域学校協働活動の推進においては、学校と地域が連携した学習支援や体験活動を推進し、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりを進めるとともに、地域コーディネーターとの対話を通じて各地区の実態や課題を把握し、今後の事業推進の方向性を整理することができた。今後は、担い手の確保や情報共有の充実を図り、持続可能な活動体制の構築に取り組む必要がある。<br>また、家庭教育事業では、家庭教育講座や子育て学習会を通じて、保護者の不安軽減や交流促進を図るとともに、学校との情報共有により家庭教育支援の充実につなげることができた。一方で、当該講座等への参加者数は、目標を大きく下回っている状況にある。様々な事情があるなかで、各ご家庭での家庭教育への関心をさらに高めることが課題である。<br>生涯学習機会の充実においては、市民学級や地域いきいき講座を通じて幅広い世代へ学習機会を提供し、地域理解の促進や住民同士の交流につなげることができた。一方で、生涯学習センター閉館に伴う講座数の減少や参加者の固定化への対応、働く世代や子育て世代の参加促進が課題となっている。<br>今後は、第五次丸亀市生涯学習推進計画に基づき、関係団体との連携を深めながら、各施策に計画的に取り組んでいく必要がある。 |
| 文化財保存活用課 | 石垣復旧工事については、引き続き帯曲輪石垣地中部の施工を進めており、一部範囲では地上部の積上げ段階へ移行している。また、三の丸石垣の積上げにも着手することができた。その他、施工における新たな課題も見えてきており、今後、これらを一つ一つ対応していく必要がある。<br>丸亀城については、令和6年度より指定管理者制度を導入し2年目となるが、城泊利用者数の伸び悩みと天守入場者数の減少が課題となっている。引き続き観光部局とも連携し、城泊における必要な見直しや改善点を講じるなど、丸亀城の更なる魅力向上やPR活動などにも努め、これらの課題解決を図るとともに本市全体の観光振興に繋げていく必要がある。<br>快天山古墳については、3号石棺の発掘調査を実施し、蓋の取り上げを行うとともに、保存処理を実施した。また、石棺の状況について現地説明会を行い、発掘成果の公開と周知に努めた。今後は、3号石棺身のひび割れへの対応を進めるとともに、引き続き整備に向けた調査を継続していく。<br>笠島伝建地区については、地元NPO団体と連携して引き続き国および市の修理修景事業による整備を行い、まち並みの景観維持に取り組むとともに、選定40周年を迎え、今後の保存地区のあり方について考えるシンポジウムを実施し、今後とも関係者と連携し保存地区の維持・活用に努める。 |

| 基本方針 | Ⅳ | 健やかな笑顔ひろがるまち |
|---|---|---|
| 基本施策 | 13 | 人権尊重・多文化共生社会の実現 |

**目指す未来の姿**

【短期】（計画期間内）
・学校や地域で人権同和教育や男女共同参画、多文化共生の取組が進み、互いの違いから生まれる多様性を尊重する意識が広がっている。
・パートナーシップ宣誓制度の普及やインターネット上の誹謗中傷防止の取組が進み、誰もが安心して自分らしく暮らせる環境が整い始めている。

【長期】（将来像）
・外国人住民が日本語学習や就労支援を通じて地域で活躍し、多文化共生が当たり前に根づいた社会が形成されている。
・国籍、障がい、性別、LGBTQ、出自などに関わらず、誰もが尊重され、安心して暮らせるまちが実現している。

**成果指標の推移**

| 指標内容 | 基準値 2020 | 進捗状況 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 目標値 2025 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **No.63 インターネットによる人権侵害対策** | | | | | | | |
| 校長会等を通じた周知啓発回数 | 1回 | 2回 | 3回 | 3回 | 6回 | 6回 | 3回 |
| **No.64 障がいを理由とする偏見や差別への対策** | | | | | | | |
| **No.65 性的少数者の人権対策** | | | | | | | |
| **No.66 部落差別解消の推進** | | | | | | | |
| 人権・同和教育指導員及び人権課が行う研修の参加人数 | 5,370人（R1） | 2,827人 | 3,235人 | 3,598人 | 3,821人 | 4,575人 | 5,500人 |
| 人権に関する講演会等に参加し、人権の大切さを理解した人の割合 | 60.0%（R1） | ― | ― | ― | ― | 63% | 65% |
| 隣保館の利用者数 | 27,421人（R1） | 11,560人 | 16,699人 | 20,506人 | 19,074人 | 15,129人 | 27,600人 |

【施策評価－１次評価】

| 担当部局 | 評価 | 担当部長が考える達成状況の評価と改善の方向性 |
|---|---|---|
| 教育部 | B | 校長会等を通じた周知啓発を目標値の2倍となる年6回実施し、インターネットによる人権侵害の未然防止に向けた学校への意識啓発が着実に進んだことからB評価と判断した。今後もSNS等に起因するトラブルの状況を踏まえながら、各学校における指導や対応力の向上に努める。 |

学識経験者の意見

（学校教育課）
「小中学校人権・同和教育研究会」等を通して、性的少数者やインターネットによる人権侵害など、現代的な人権課題について教職員が学ぶ機会が確保されている。一方、人権課題は多様化・複雑化しており、各学校においては、児童生徒の実態や発達段階を踏まえ、身近で心に響く課題を取り上げ、主体的に学習できる人権教育を進めることが必要である。特に、いじめやSNS上の人権侵害など、児童生徒の生活に直結する課題については、学んだことを具体的な行動につなげられるよう、家庭や地域、関係機関との連携を深めながら、継続的・実践的な取組を進めていただきたい。

【主要施策の達成状況・課題】

| 担当課 | 担当課長が考える達成状況と今後の課題 |
|---|---|
| 学校教育課 | 全国的にSNSによる児童生徒間のトラブルや教職員による不祥事は増加傾向にあり、未然防止の取組が求められている。校長会を通して、指導の充実と徹底を図ることは有益であり、今後も各学校において適切に対応できるように、校長会での指導内容の充実を図っていく。 |

# 教育委員会決算資料

## 令和7年度丸亀市一般会計教育費の決算について

1　一般会計歳入歳出決算

| | |
|---|---|
| 歳入決算額 | 89,413,700,709 円 |
| 歳出決算額 | 87,943,148,136 円 |
| 歳入歳出差引残額 | 1,470,552,573 円 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 | 336,323,511 円 |
| 翌年度へ繰越額 | 1,134,229,062 円 |

2　教育費決算

| | |
|---|---|
| 予算現額 | 31,708,205,862 円 |
| 支出済額 | 30,272,706,063 円 |
| 繰越明許費 | 976,908,136 円 |

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 1 | 教育総務費 | 目 | 1 | 教育委員会費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 教育委員会費 | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 4,338 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 4,794 |
| R6 | 4,285 | 0 | 0 | 0 | | 4,338 | 執行率 |
| R5 | 4,827 | | | | | | 90.49 % |

**事業の趣旨・目的**

合議制の執行機関である教育委員会を円滑に運営するための経費である。

**実施事業の内容**

委員報酬 3,648
委員会諸費 690

教 育 委 員 会 開 催 状 況

| 会　議　名 | 開催回数 | 議案等件数 |
|---|---|---|
| 委　員　会 | 14回 | 84件 |

**事業の成果・課題**

定例教育委員会及び臨時教育委員会を開催し、教育委員会が担任する事務について適切に審議を行った。また、総合教育会議では、市長との意見交換や情報共有、現地視察を実施し、健全な教育行政の運営を図った。
教育委員会表彰式については、アイレックス大ホールを会場として開催し、被表彰者に賞状及び記念品を授与した。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 1 | 教育総務費 | 目 | 2 | 事務局費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 事務局管理費 | | | | 担当課 | 教育部総務課<br>学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 186,827 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 194,915 |
| R6 | 179,282 | 0 | 35 | 0 | | 186,792 | 執行率 |
| R5 | 169,499 | | | | | | 95.85 % |

**事業の趣旨・目的**

教育委員会の指揮監督のもと、教育委員会が担う事務を円滑に執行するためにかかる経費である。【総務課】
教育委員会の適正な管理運営を行う。【学校教育課】

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 職員給与等 | 158,931 |
| 会計年度任用職員報酬等（6人） | 15,873 |
| 市立学校適正配置等検討委員会委員報酬 | 371 |
| 教育講演会講師謝金 | 110 |
| 就学に係る教育相談謝金 | 1,228 |
| よい歯の審査会業務委託料 | 140 |
| 教育文化祭等行事委託料 | 2,765 |
| 子ども議会業務委託料 | 322 |
| 中讃広域行政事務組合負担金 | 1,863 |
| 県学校保健会負担金 | 102 |
| 校長会・教頭会補助金 | 150 |
| 学校保健会補助金 | 160 |
| 授業目的公衆送信利用料 | 1,281 |
| 英検受験費用補助金 | 576 |
| 事務費等（需用費、使用料及び賃借料、備品購入費　他） | 2,955 |

**事業の成果・課題**

教育委員会を円滑に運営できるよう適切に事務を行っている。【総務課】
適宜、業務内容を見直しながら円滑な管理運営を行っている。令和7年度は英検受験費用の補助を182件行った。【学校教育課】

| 2 | 事業名 | 私学等振興費 | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 600 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 602 |
| R6 | 600 | 0 | 0 | 0 | | 600 | 執行率 |
| R5 | 600 | | | | | | 99.67 % |

**事業の趣旨・目的**

学校教育の発展を図るため、私立学校等の運営を支援する経費である。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 私学振興補助金 | 460 |
| 勤労青年教育振興補助金 | 120 |
| 勤労青年教育振興事業負担金 | 20 |

**事業の成果・課題**

学校図書や教材・器具等学習に要する経費に対して助成を行い、私学や勤労青年教育の充実を図った。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 1 | 教育総務費 | 目 | 3 | 教育振興費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 3 | 事業名 | 奨学金給付事業費 | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 2,522 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 2,526 |
| R6 | 1,800 | 0 | 0 | 0 | | 2,522 | 執行率 |
| R5 | 840 | | | | | | 99.84 % |

**事業の趣旨・目的**

片岡政隆氏よりアルプスアルパイン株式会社の株式の寄附を受け、その配当金をもとに経済的に進学が困難である者に対し給付型の奨学金を支給し、将来社会に貢献し得る人材の育成に努める。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 片岡給付型奨学金（21名分） | 2,520 |
| 手数料 | 2 |

（単位：千円）

**事業の成果・課題**

片岡氏から株式の寄附を受け、その配当金を原資に、令和5年度から奨学金の給付を実施している。令和7年度は14人から応募があり、選考の結果、8名を奨学生として選定し、奨学金を支給した。今後も寄附者の意向に沿って継続的に奨学金を支給し、将来を担う人材の育成に努める。

| 4 | 事業名 | 教育研究所管理費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 7,738 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 7,955 |
| R6 | 6,634 | 0 | 0 | 0 | | 7,738 | 執行率 |
| R5 | 3,993 | | | | | | 97.27 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀市教育研究所条例に基づき、保育・授業研究等を充実させ、幼稚園、保育所、こども園、小学校、中学校教員の指導力向上を図る。また、視聴覚教育の振興を図る。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 会計年度任用職員（教育研究所）報酬等(1人) | 4,295 |
| 研修員研修講師謝金 | 123 |
| 若年教員支援講師謝金 | 595 |
| 授業研究報告会貸切バス代 | 298 |
| 先進地視察研修県外旅費 | 189 |
| 先進地視察研修費用弁償 | 1,158 |
| 視聴覚ライブラリー運営委託料 | 130 |
| 職員研修委託料 | 330 |
| チーム担任制研究推進業務委託料 | 200 |
| 教材備品購入費 | 145 |
| 香川県教育研究所視聴覚ライブラリー負担金 | 20 |
| 事務費等 | 255 |

・研修員研修：幼児教育部会と教科部会（外国語部会とICT活用部会）、集合研修26回
・授業づくりサポーターによる授業公開：10回、延べ参加者123名
・若年教員支援講師による教職2年目・3年目までの小中学校教員への訪問指導：
43名を対象に延べ131回
・丸亀市初任者・教職2年目・3年目教員研修会：8月21日開催、参加者76名
（人権・同和教育研修、生徒指導研修、グループ別協議）
・視聴覚教材・機材の利用状況
（DVD・ビデオ教材　33本、VHSデッキ　2台）

**事業の成果・課題**

研修員研修の幼児教育部会では、「幼児教育において育みたい資質・能力」を培う総合的な教育・保育の充実を図るため、対話し、省察することを通し、幼児の育ちを読み解く研修を行った。一方、教科部会では、講師招聘や先進地視察を行い、丸亀市のめざす「思考と言語活動の充実に向けた授業づくり」について研修を行った。

授業づくりサポーター（児童生徒としっかりと向き合って、児童生徒とのやりとりを通して授業づくりをしている方）による授業の参観と懇談会は、教職3年目までの教員を中心に日々の課題解決につながった。

若年教員支援講師による訪問指導を通して、対象教員は少しずつ自信をつけ、丸亀市初任者・教職2年目・3年目教員研修会では、若年教員同士の交流を深めることもできた。

また、視聴覚教材の貸出しを行い、平和教育や安全・防災教育、人権教育に関する学習支援を行った。

さらに、チーム担任制導入に向けた体制整備のために、管理職を対象とした津山市への先進地視察を実施するとともに、県外の先進校の校長を招聘し、講演会や実践発表会を開催することで、制度への理解促進と実践的な知見の共有に努めた。

（単位：千円）

| 5 | 事業名 | 教育情報化推進費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 345,362 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 351,442 |
| R6 | 170,791 | 0 | 109,609 | 0 | | 235,753 | 執行率 |
| R5 | 169,950 | | | | | | 98.27 % |

**事業の趣旨・目的**

学校のＩＣＴ環境を整備更新し、校務支援システム等の活用による教員の業務の効率化を進めるとともに、教職員と児童生徒の情報活用能力を育成する。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 会計年度任用職員（教育情報化推進員）報酬等（1人） | 2,512 |
| インク代購入費等 | 5,644 |
| 回線料等 | 5,382 |
| 教育用ネットワークセンター構成機器等保守業務委託料 | 10,148 |
| 常駐サポート委託料 | 1,307 |
| 小中学校用インターネット回線設定等変更業務委託料 | 3,100 |
| 印刷機保守業務委託料 | 1,787 |
| ＩＣＴ支援員派遣業務委託料 | 11,154 |
| 電子機器導入等業務委託料 | 2,298 |
| 教育用パソコン等借上料 | 118,040 |
| デジタル健康観察アプリ使用料 | 2,389 |
| デジタル教科書使用料 | 1,315 |
| テスト採点ソフト使用料 | 495 |
| セキュリティソフト使用料 | 2,432 |
| タブレットドリル使用料 | 3,965 |
| 学習支援アプリ「ロイロノート」使用料 | 8,435 |
| GIGAスクール構想に係る生徒用タブレット端末の購入（3,056台） | 162,989 |
| ネットワーク構築用備品購入費 | 262 |
| 総務事務システム整備事業負担金 | 149 |
| 県域運営支援センター負担金 | 844 |
| 事務費等 | 715 |

**事業の成果・課題**

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、1人1台端末や大型モニターなどのICT機器を有効活用した効果的な実践を行っている。令和7年度は、学習支援アプリ「ロイロノート」を本格的に導入するとともに、小学校へのICT支援員の派遣時間数を大幅に増加し、アプリの研修を行うなど、ICTを活用した授業改善の推進を図った。学校図書室の回線整備を令和6年度に未実施であった7校に実施し、全ての小中学校で、電子書籍の閲覧が可能となった。また、大規模中学校3校へ10ギガ回線を導入するなど、更なる回線強化を行った。

| 6 | 事業名 | 日本語適応支援教室事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 10,806 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 11,714 |
| R6 | 6,532 | 0 | 211 | 0 | | 10,595 | 執行率 |
| R5 | 6,101 | | | | | | 92.25 % |

**事業の趣旨・目的**

海外から帰国した児童生徒や外国籍児童生徒、その他主たる家庭内言語が外国語であるなど日本語以外を使用する生活歴がある児童生徒のうち、教科等の学習活動に取り組むために必要な日本語の能力が十分でない者に対して、初歩的な日本語学習や学校への適応支援を一定期間集中して行う。

（単位：千円）

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 会計年度任用職員報酬等（11人） | 7,565 |
| 外国人児童生徒等教育推進講師謝金（11人） | 3,000 |
| 事務費 | 241 |

・にほんご教室修了者数　8人（小学生6人・中学生2人）

**事業の成果・課題**

にほんご教室は、年度を通して入級・修了があるが、年度で区切ると13名が入級し8名が修了した。また、11人の外国人児童生徒等教育推進講師を、こくさい教室を含めた12校に派遣して、75名の児童・生徒に日本語指導や教科指導を行うなど、学習活動を支援してきた。複数の中学校へも派遣でき、小学校卒業後の継続的な指導にも対応できた。

| 7 | 事業名 | 学校教育サポート事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 31,353 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 寄附金 | 一般財源 | 31,612 |
| R6 | 27,972 | 0 | 0 | 0 | 500 | 30,853 | 執行率 |
| R5 | 30,983 | | | | | | 99.18 % |

**事業の趣旨・目的**

学校だけでは解決が困難な問題に対して指導・助言を行い早期解決に努める。いじめ防止等の対策を含む生徒指導の充実を図る。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 会計年度任用職員報酬等 | | 30,707 |
| 指導主事（3人） | 12,385 | |
| 学校問題解決支援員（1人） | 4,009 | |
| 学校生活指導員（5人） | 14,313 | |
| 相談謝金 | | 595 |
| 事務費 | | 51 |

・サポート室への相談および苦情の対応件数　384件

**事業の成果・課題**

保護者からの過度な要求、いじめ、児童虐待、不登校など、学校だけでは解決が困難な複雑な事案が年々発生しており、各校には、早期発見や未然防止、いじめの積極的認知の取組を呼びかけている。令和7年度もサポート室には多くの相談が寄せられた。令和6年度に比べ、対応実件数は減少したものの、対応のべ件数は大幅に増加しており、問題が長期化する傾向が強くなっている。各校において対応に苦慮しているケースが見られたため、今後も関係機関との連携や専門家への相談も行いながら、早期の解決を目指し取り組んでいきたい。

| 8 | 事業名 | 小中・地域連携教育推進事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 34,491 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 寄附金 | 一般財源 | 39,818 |
| R6 | 32,768 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 32,491 | 執行率 |
| R5 | 14,393 | | | | | | 86.62 % |

**事業の趣旨・目的**

小中学校が連携を深め、各学校群の実情に応じた交流事業を行うとともに、地域との連携を深め、地域とともにある学校づくりに資する。

（単位：千円）

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 会計年度任用職員（講師）報酬等(11人) | 25,737 |
| 推進協議会委員謝金 | 136 |
| 連携協議会運営事業委託料 | 2,071 |
| 学校運営協議会業務委託料 | 1,060 |
| 文化財めぐり【本島】小学校6年生 | |
| 船舶チャーター料・貸切バス代（車船借上料） | 2,486 |
| フェリー乗船料（通信運搬料） | 306 |
| ガイド料 | 42 |
| 消耗品 | 7 |
| 文化財めぐり【丸亀城・中津万象園・西長尾城・快天山古墳】中学校1年生 | |
| 貸切バス代（車船借上料） | 2,024 |
| 中津万象園入場料 | 172 |
| 中津万象園ガイド料 | 30 |
| ふるさと授業「音楽鑑賞会」小学校 | |
| 講師謝金（8名） | 250 |
| ふるさと授業「うたとピアノのおはなし」小学校 | |
| 講師謝金（2名） | 20 |
| ピアノ調律手数料 | 20 |
| ふるさと授業　講演会「ようこそ先輩」小学校 | |
| 講師謝金（1名） | 53 |
| ふるさと授業　講演会「科学の楽しさについて」小学校　中学校 | |
| 講師謝金（1名） | 50 |
| ふるさと授業　講演会　中学校 | |
| 講師謝金（1名） | 10 |
| ふるさと授業　「イングリッシュワンデイキャンプin瀬戸芸」中学校 | |
| フェリー乗船料 | 15 |
| 事務費等 | 2 |

**事業の成果・課題**

「小中連携」については、中学校教員が小学校で授業を行う交流授業を実施し、教員の専門性を生かした指導を行うとともに、児童が中学校の授業や学校生活を理解する機会を確保した。これにより、中学校進学に対する児童の不安軽減につながっている。また、小学校において、専門性を有する教員による指導や、一人の教員が複数の学級を同一教材で指導する教科担任制を導入することにより、中学校の学習体制への円滑な接続が図られ、進学時の戸惑いの軽減に寄与している。さらに、中学生によるポスター教室や学校紹介、部活動見学などの交流活動を実施し、中1ギャップの解消に取り組んだ。

「地域連携」については、地域や学校群の特色を生かし、学校支援ボランティアや地域人材の活用を通して、地域と学校の円滑な連携を推進した。こうした取組により、地域の教育力を学校教育に取り入れる体制づくりが進んでいる。また、地域の意見を生かす学校運営協議会や、学校と地域をつなぐ地域学校協働活動の推進により、地域や社会を担う人材の育成に資する取組の充実が図られた。

「文化財めぐり」では、小学6年生が本島、中学1年生が丸亀城や中津万象園等を訪問し、市内の貴重な文化財に出合う活動を通して、ふるさとへの愛着と誇りを育むことができた。

「ふるさと授業」では、各学校の状況に応じて講師を招聘するなど、ふるさと丸亀の人・もの・ことに出合う活動を通して、ふるさとへの愛情や誇りの醸成に取り組んだ。小学校では、身近な大人や地域の方の思いを歌と話で伝える「ふるさとコンサート」を実施したり、中学校では市内中学校2年生を対象に、丸亀に思いをもち様々な場面で活躍されている講師の方の経験や思いを聞く講演会を実施したりした。

（単位：千円）

| 9 | 事業名 | 就学奨励事業費（高校、大学） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 2,012 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 預託金返還金 | 一般財源 | 2,173 |
| R6 | 2,009 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 12 | 執行率 |
| R5 | 2,011 | | | | | | 92.59 % |

**事業の趣旨・目的**

高校・大学等への入学金の支払いが、経済的な理由で困難な人に対し入学金を貸し付け、支援を行う。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 高・大学等入学金貸付金預託金 | 2,000 |
| 利子補給金 | 12 |

＜令和7年度貸付実行状況＞

| | |
|---|---|
| 申請件数 | 3 件 |
| 貸付実行件数 | 2 件 |
| 貸付実行金額 | 390 千円 |

**事業の成果・課題**

入学金貸付事業を実施し、進学期の資金需要に対応した。
今後、学校や市の広報・ホームページ等を通して、必要とする方に確実に届けられるよう、丁寧な周知と利用しやすい環境づくりに努め、意欲的に学ぶ機会が保障されるよう支援していきたい。

| 10 | 事業名 | いじめ等対策事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 31,422 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 34,520 |
| R6 | 29,065 | 0 | 4,800 | 0 | | 26,622 | 執行率 |
| R5 | 1,187 | | | | | | 91.03 % |

**事業の趣旨・目的**

児童の臨床心理に高度かつ専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、問題行動等の早期発見・未然防止に努めるとともに、教育相談体制の充実を図る。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| スクールカウンセラー配置事業費負担金 | | 1,273 |
| 会計年度任用職員報酬等 | | 29,868 |
| スクールソーシャルワーカー（5人） | 16,231 | |
| 学習支援員（6人） | 13,637 | |
| ＳＳＷ電話代 | | 242 |
| ＳＳＷ用携帯機種代1台分 | | 39 |

**事業の成果・課題**

12学級以上の公立小学校13校にスクールカウンセラーを年間40時間配置し、児童の友人関係や発達障害、不登校に対する助言・援助を行った。スクールソーシャルワーカーを陸地部中学校に配置し、福祉の専門家として、学校と保護者、関係機関を接続し、それらの連携を図っている。
また、校内サポートルームに専属の学習支援員を配置し、不登校生徒が安心して登校できる環境や安心して過ごせる場所づくりを行った。専門家等の存在が、児童・保護者・教員の心の支えや学校との仲立ち的な役割になっている場合もあり、今後も学校の教育相談体制の充実を図りたい。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 2 | 小学校費 | 目 | 1 | 学校管理費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 小学校管理運営費 | | | | 担当課 | 教育部総務課<br>学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 371,866 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 負担金等 | 一般財源 | 396,585 |
| R6 | 404,679 | 111 | 2,916 | 0 | 2,558 | 366,281 | 執行率 |
| R5 | 375,141 | | | | | | 93.77 % |

**事業の趣旨・目的**

小学校の適正な運営にあたり、施設の維持管理にかかる経費である。【総務課】
小学校の適正な運営にあたり、必要な環境整備を行うとともに、児童の健全な発達・成長に寄与するための取組や施策を行う。【学校教育課】

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| （１）小学校施設費 | 170,098 |
| 会計年度任用職員（学校用務員）報酬等（8人） | 25,947 |
| 施設管理委託料（校内樹木管理等委託ほか5件） | 8,115 |
| 学校施設工事費 | 12,344 |
| 学校用地借上料（城北小ほか4校 6,546.67㎡） | 1,285 |
| 学校施設修繕料 | 3,621 |
| 光熱水費 | 111,168 |
| その他学校施設維持管理経費 | 7,618 |
| （２）小学校運営費 | 178,782 |
| 職員給与等 | 65,954 |
| 学校医（内科、耳鼻科、眼科等）及び薬剤師報酬 | 24,508 |
| 児童心臓検診委託料 | 1,079 |
| 教職員健康診断委託料 | 2,010 |
| 小児生活習慣病予防健診委託料 | 2,608 |
| 水泳授業委託料 | 5,374 |
| 脊柱側弯症専用機器検診委託料 | 3,000 |
| 香川用水水源巡りの旅事業（貸切バス代） | 455 |
| 庁用器具等備品購入費 | 4,499 |
| 教師用教科書・指導書購入費 | 5,762 |
| 校長会、教頭会等団体負担金 | 1,542 |
| 日本スポーツ振興センター災害共済負担金 | 5,234 |
| 事務費（消耗品） | 41,979 |
| 事務費（役務費、消耗品費を除く需用費、使用料及び賃借料 他） | 14,778 |
| （３）小学校給食費 | 22,986 |
| 会計年度任用職員（給食パート）報酬等（18人） | 15,694 |
| 給食配膳業務委託料 | 4,801 |
| 検便手数料 | 1,123 |
| その他経費 | 1,368 |

（単位：千円）

児童数等の状況

| 年　度 | 学 校 数 | 学 級 数 | 児 童 数 |
|---|---|---|---|
| 令和6年度 | 18校 | 271学級 | 5,824人 |
| 令和7年度 | 18校 | 284学級 | 5,696人 |
| 増　減 | ― | 13学級 | △128人 |

**事業の成果・課題**

各小学校の安全・安心な施設の維持管理に努めている。【総務課】
小学校の適正な運営を図るため、必要な環境整備を行うとともに、児童の健全な発達・成長に寄与する取組や施策を行った。【学校教育課】

| 2 | 事業名 | 児童指導推進費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 6,715 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 6,822 |
| R6 | 6,444 | 0 | 0 | 0 | | 6,715 | 執行率 |
| R5 | 5,354 | | | | | | 98.43 % |

**事業の趣旨・目的**

教育支援センター友遊の充実と学校内の緊急的な諸問題に対応する。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 会計年度任用職員（教育支援センター指導講師）報酬等（2人） | 6,435 |
| 教育相談員謝金 | 180 |
| 児童緊急指導事業委託料 | 100 |

**事業の成果・課題**

学校内で起こる児童の指導上の緊急的な諸問題について、学校や保護者、関係機関との連携を図りながら適切に対応した。教育支援センター「友遊」では、指導員が家庭や学校と緊密に連携し、個々の状況に応じたきめ細やかな支援を継続して行った。また、児童の心の居場所づくりを進めるとともに、学習支援や社会的自立に向けた活動を実施した。

| 3 | 事業名 | 児童指導充実費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 150,404 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 160,133 |
| R6 | 124,730 | 0 | 12,591 | 0 | | 137,813 | 執行率 |
| R5 | 74,962 | | | | | | 93.92 % |

**事業の趣旨・目的**

障がいのある児童や授業に集中できない児童等、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるとともに、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、指導及び支援を行う。

（単位：千円）

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 会計年度任用職員報酬等 | | 143,636 |
| 講師（1人） | 3,672 | |
| 特別支援教育支援員（50人） | 111,109 | |
| 教員業務支援員（15人） | 28,855 | |
| 発達障害児巡回カウンセラー謝金 | | 1,340 |
| 医療的ケア児支援業務委託料 | | 5,256 |
| 備品購入費 | | 20 |
| 事務費 | | 152 |

**事業の成果・課題**

島しょ部を除く小学校に、特別支援教育支援員を50名配置し障がいのある児童に対し支援を行った。専門相談員による巡回カウンセリングでは、教員や保護者に今後の支援についてアドバイスを行い、適切な指導が行えるよう支援を進めた。また、教員業務支援員を、学校規模に応じて、島しょ部を除く15校に1名ずつ配置し、教職員が児童に向き合う時間の確保に努めた。個別の支援が必要な児童の増加に対応するため、今後も、個別の教育的ニーズに合わせた特別支援教育支援員の効果的な配置を検討していきたい。また、医療的ケアを必要とする児童3名に対し、看護師を派遣することで集団生活の場でも切れ目ない支援と共に、保護者の負担軽減にもつながった。学校の職員も医療的ケアが必要な児童の特性を理解し、安全な学びの場を提供することができた。

| 4 | 事業名 | 教職員等研修費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 600 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 600 |
| R6 | 600 | 0 | 0 | 0 | | 600 | 執行率 |
| R5 | 600 | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

学校教育を取り巻く様々な課題に対応できる実践的な教育研究を進める。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 丸亀市小学校教育研究会（23部会）委託料 | 600 |

**事業の成果・課題**

教科部会13部会、教科外部会8部会、学校事務部会、へき地教育部会による研修を進めた。教科部会では公開授業、教科外部会等ではワークショップをそれぞれ開催し、授業力の向上や実務能力の向上に努めた。

| 5 | 事業名 | 英会話推進事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 4,216 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 4,319 |
| R6 | 4,027 | 0 | 0 | 0 | | 4,216 | 執行率 |
| R5 | 2,923 | | | | | | 97.62 % |

**事業の趣旨・目的**

市内学校における外国語教育の充実を図るために、英語講師を派遣する。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 会計年度任用職員（外国語活動指導講師）報酬等（1人） | 3,853 |
| イングリッシュキャンプ業務委託料 | 363 |

（単位：千円）

**事業の成果・課題**

小学校外国語の授業に講師1名を派遣し、ICT教材や絵カード、動画等を活用することで、児童が楽しく外国語を学べるように努めた。また、教員と協力し、歌やゲーム、リスニング等の体験的な活動を多く取り入れたことで、児童が外国語を身近に感じられるようになった。
さらに、小学校において英語のみで活動するイングリッシュキャンプを実施した。市内の小学生37名が参加し、ALTとの様々な活動を通して、生きた英語に慣れ親しみながら、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が見られた。

| 6 | 事業名 | 人権教育フィールドワーク事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 100 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 101 |
| R6 | 100 | 0 | 100 | 0 | | 0 | 執行率 |
| R5 | 100 | | | | | | 99.01 % |

**事業の趣旨・目的**

人権に関する知的理解を深めたり、学力向上の推進を図ったりすることで、人権擁護の意識・意欲を実践行動にまで高めていくことのできる人権感覚を育成する。

**実施事業の内容**

地域学力向上・キャリア教育総合推進事業費　100

**事業の成果・課題**

本事業の支援を受け教材・図書等を購入し、本の読み聞かせや紹介、ドリル学習を通して基礎学力の定着を図った。個別指導を充実させることで「共に伸びる学校づくりアンケート」の授業の理解度についての項目も80%以上の肯定的な回答を得た。また、事業を通して、仲間づくりの取組により自尊感情や自己有用感が向上し、他者を受け入れる態度の育成につながった。さらに、「ふるさと本島」の良さを再認識する機会にもなった。

| 7 | 事業名 | 学校図書館教育推進事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 45,531 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 45,577 |
| R6 | 42,890 | 0 | 0 | 0 | | 45,531 | 執行率 |
| R5 | 32,109 | | | | | | 99.90 % |

**事業の趣旨・目的**

学校司書による小学校図書館の環境整備・蔵書の補充・読書活動の推進を図り、小学校における図書館教育の充実を図る。

**実施事業の内容**

会計年度任用職員（学校司書）報酬等（16人）　45,511
消耗品費　20

**事業の成果・課題**

学校司書の尽力により、学校図書館として読書センター機能、学習センター機能、情報センター機能の3機能を充実させるための環境整備が進められた。小学校では、子ども新聞が2紙配置され、その活用法の研修も進められた。また、ほとんどの小学校で国が定める学校図書標準の蔵書率を満たすことができた。今後は児童の主体的・意欲的な学習活動が展開できるよう、電子書籍の活用等ICT化や更なる蔵書の充実を図るとともに、授業内容に合わせた資料提供を積極的に行うなど学校図書館機能の充実を図っていく。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 2 | 小学校費 | 目 | 2 | 教育振興費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 教育振興費 | | | | 担当課 | 教育部総務課<br>学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 67,343 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 寄附金 | 一般財源 | 74,356 |
| R6 | 72,563 | 2,472 | 0 | 0 | 1,651 | 63,220 | 執行率 |
| R5 | 75,731 | | | | | | 90.57 % |

**事業の趣旨・目的**

児童就学奨励援助費については、経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する事業である。【総務課】
小学校における図書・教材を充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図っていく。【学校教育課】

**実施事業の内容**

（１）教材備品費　15,610
　図書費等　7,332
　教具費　5,808
　理科教育等備品購入費　2,470

（２）児童就学奨励援助費（給食費、学用品費等）　51,733

児童就学奨励援助費

| 区　分 | 金　額 |
|---|---|
| 給　食　費 | 28,333 |
| 学　用　品　費　等 | 23,400 |
| 合　計 | 51,733 |

（手数料含む）

**事業の成果・課題**

経済的理由により就学が困難にならないよう、援助を必要とする児童の保護者に必要な支援を行い、義務教育の円滑な実施に努めた。【総務課】
図書・教材を充実させることで、児童の自主的、自発的な教育活動や読書活動を展開することができた。また、国庫補助事業の理科教育設備整備費等補助金を活用した理科教育等備品購入費は令和5年度に全小学校への均等配分で基礎的な環境整備を一巡させた後、令和6年度より導入した「4～5校ずつの計画的配分」により、小学校の理科教育・算数教育における実験器具等が刷新され、より高度な学習に対応した教材の導入を重点的に実施できた。【学校教育課】

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 2 | 小学校費 | 目 | 3 | 学校建設費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 小学校建設費（単独事業） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 3,616,013 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 3,675,480 |
| R6 | 2,630,941 | 0 | 0 | 87,500 | | 3,528,513 | 執行率 |
| R5 | 351,019 | | | | | | 98.38 % |

**事業の趣旨・目的**

小学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。

**実施事業の内容**

【予算現額のうち翌年度繰越額】（36,700）

小学校建設費 3,589,889

| 事業名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|
| 小学校トイレ洋式化改修事業 | 1,551 | |
| 小学校屋内運動場屋内照明LED化整備事業 | 1,617 | 地方債 1,400 |
| 城辰小学校校舎長寿命化改修事業 | 13,238 | |
| 市内小学校消防用設備改修事業 | 8,909 | |
| 飯山南小学校校舎等改築事業 | 13,838 | |
| 飯山北小学校トイレ改修他整備事業 | 36,158 | |
| 小学校施設防犯対策事業 | 10,004 | |
| 小学校屋内運動場空調設備整備事業 | 14,399 | 地方債 14,300 |
| 城南小学校長寿命化改修事業 | 881,707 | 地方債 2,700 |
| 城坤小学校長寿命化改修事業 | 842,398 | |
| 城東小学校校舎等改築事業 | 1,692,802 | 地方債 69,100 |
| 垂水小学校プール改築等事業 | 73,268 | |

職員給与等 26,124

**事業の成果・課題**

学校施設の環境改善及び長寿命化を推進するため、郡家小学校北校舎及び飯山北小学校第3棟のトイレ洋式化、城坤小学校・城南小学校・本島小中学校の屋内運動場照明LED化、本島小中学校・城坤小学校・城南小学校・郡家小学校・飯野小学校の屋内運動場空調整備に係る設計業務を実施した。また、城辰小学校校舎長寿命化改修設計を計画どおり開始するとともに、飯山南小学校校舎改築及びプール解体に係る設計業務を進めた。さらに、消防設備の老朽化部品の更新や、垂水小学校・岡田小学校の防犯カメラ及び電話交換機器の改修設計を実施するなど、安全・安心で快適な教育環境の整備に取り組んだ。

なお、飯山南小学校校舎改築に伴う基本設計に時間を要したため、実施設計に係る予算を繰り越した。

（単位：千円）

| 2 | 事業名 | 小学校建設費（繰越明許費・単独事業） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 498,053 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 498,681 |
| R6 | 37,173 | 0 | 0 | 12,200 | | 485,853 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | | 99.87 % |

**事業の趣旨・目的**

小学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。

**実施事業の内容**

小学校建設費 498,053

| 事業名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|
| 小学校運動場照明LED化整備事業 | 15,553 | 地方債 12,200 |
| 城東小学校校舎等改築事業 | 482,500 | |

**事業の成果・課題**

城東小学校校舎等改築工事は工事着手遅れのため、小学校運動場照明整備はLED化工事を発注平準化調整のため、予算を繰り越していた工事を完了した。

| 3 | 事業名 | 小学校建設費（公共事業） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 2,717,519 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 2,717,519 |
| R6 | 1,853,136 | 965,342 | 0 | 1,545,300 | | 206,877 | 執行率 |
| R5 | 143,559 | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

小学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。

**実施事業の内容**

小学校建設費（公共事業） 2,717,519

| 事業名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|
| 城南小学校長寿命化改修事業 | 530,099 | 国 178,326<br>地方債 312,200 |
| 城坤小学校長寿命化改修事業 | 362,448 | 国 120,816<br>地方債 217,400 |
| 城東小学校校舎等改築事業 | 1,795,257 | 国 656,295<br>地方債 1,015,700 |
| 垂水小学校プール改築等事業 | 29,715 | 国 9,905 |

**事業の成果・課題**

城南小学校及び城坤小学校の長寿命化改修事業、城東小学校校舎等改築事業並びに垂水小学校プール改築等事業は、国の補助金を活用して計画どおりの整備を完了した。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 3 | 中学校費 | 目 | 1 | 学校管理費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 中学校管理運営費 | | | | 担当課 | 教育部総務課<br>学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 202,287 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 負担金 | 一般財源 | 224,701 |
| R6 | 183,686 | 102 | 904 | 0 | 1,903 | 199,378 | 執行率 |
| R5 | 202,994 | | | | | | 90.02 % |

**事業の趣旨・目的**

中学校の適正な運営にあたり、施設の維持管理にかかる経費である。【総務課】
中学校の適正な運営にあたり、必要な環境整備を行うとともに、生徒の健全な発達・成長に寄与するための取組や施策を行う。【学校教育課】

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| （１）中学校施設費 | 84,987 |
| 会計年度任用職員（学校用務員）報酬等（3人） | 10,028 |
| 施設管理委託料　（校内樹木管理等委託ほか5件） | 3,899 |
| 学校施設工事費 | 7,377 |
| 学校施設修繕料 | 2,327 |
| 光熱水費 | 54,556 |
| 土地借上料(綾歌中学校　1,985㎡) | 327 |
| その他学校施設維持管理経費 | 6,473 |
| （２）中学校運営費 | 110,026 |
| 職員給与等 | 24,744 |
| 学校医（内科、耳鼻科等）、薬剤師及び産業医等報酬 | 11,126 |
| 教職員健康診断委託料 | 956 |
| 生徒心臓検診委託料 | 1,098 |
| 小児生活習慣病予防健診委託料 | 2,440 |
| 各種競技大会生徒派遣事業委託料 | 3,600 |
| 庁用器具等備品購入費 | 4,126 |
| 教師用教科書・指導書購入費 | 18,892 |
| 日本スポーツ振興センター災害共済負担金 | 2,593 |
| 校長会、教頭会等負担金 | 1,541 |
| 各種競技大会生徒派遣補助金 | 5,288 |
| 事務費(消耗品) | 22,739 |
| 事務費(役務費、使用料及び賃借料、消耗品費を除く需用費 他) | 10,883 |
| （３）中学校給食費 | 7,274 |
| 会計年度任用職員（給食パート）報酬等（8人） | 6,519 |
| 検便手数料 | 414 |
| その他経費 | 341 |

生 徒 数 等 の 状 況

| 年　度 | 学　校　数 | 学　級　数 | 生　徒　数 |
|---|---|---|---|
| 令和６年度 | 8校 | 109学級 | 2,949人 |
| 令和７年度 | 8校 | 110学級 | 2,839人 |
| 増　減 | ― | 1学級 | △110人 |

（単位：千円）

**事業の成果・課題**

各中学校の安全・安心な施設の維持管理に努めている。【総務課】
中学校の適正な運営を図るため、必要な環境整備を行うとともに、生徒の健全な発達・成長に寄与する取組や施策を行った。【学校教育課】

| 2 | 事業名 | 生徒指導推進費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 26,514 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 27,079 |
| R6 | 22,184 | 0 | 4,420 | 0 | | 22,094 | 執行率 |
| R5 | 15,524 | | | | | | 97.91 % |

**事業の趣旨・目的**

教育支援センターを運営するとともに、部活動の強化やいじめ・不登校等様々な課題に対応する取組を行い、生徒の健全な育成を支援する。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 会計年度任用職員報酬等 | | 21,656 |
| 教育支援センター講師（3人） | 10,131 | |
| 部活動指導員(11人) | 6,337 | |
| SSW（1名） | 1,094 | |
| 部活動コーディネーター（1人） | 4,094 | |
| 教育相談等講師謝金 | | 210 |
| 部活動外部指導者謝金 | | 254 |
| 部活動地域移行検討委員謝金 | | 70 |
| 生徒緊急指導事業委託料 | | 650 |
| いじめ対策事業委託料 | | 150 |
| 不登校対策事業委託料 | | 200 |
| 教育支援センター設置事業委託料 | | 1,000 |
| 会場借上料等 | | 1,184 |
| 部活動強化推進補助金 | | 1,000 |
| SSW携帯機種代（1台分） | | 22 |
| 事務費等 | | 118 |

**事業の成果・課題**

教育支援センター「友遊」では、不登校生徒の社会的自立を目指し、一人一人の状況に応じた支援を行った。その結果、在籍生徒は充実した活動を行うことができており、安定した生活や進路保障につながった。さらに、いじめ・虐待・不登校等の多様な課題に対して、学校や関係機関と連携しながら、生徒及び保護者への支援を行い、健全育成の推進に努めた。令和7年度は新たに、「友遊」にスクールソーシャルワーカーを配置した。不登校生徒への定期的な家庭訪問や電話連絡を通して、家庭環境や社会環境等の背景を把握し、生徒・保護者・学校に対して適切な助言や支援を実施した。一方、部活動の地域展開については、部活動地域移行等検討委員会を設置し、地域展開に向けた協議体制を構築した。また、必要な部活動への部活動指導員の配置や、拠点校方式・合同部活動方式による部活動改革を推進するとともに、令和8年度からの軟式野球のクラブ化に向けた準備を着実に進めた。

| 3 | 事業名 | 生徒指導充実費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 65,398 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 69,299 |
| R6 | 64,345 | 0 | 44 | 0 | | 65,354 | 執行率 |
| R5 | 43,100 | | | | | | 94.37 % |

**事業の趣旨・目的**

障がいのある生徒や授業に集中できない生徒等、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め生活や学習上の困難を改善又は克服するため、指導及び支援を行う。

（単位：千円）

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 会計年度任用職員報酬等 | | 64,703 |
| 講師（17人） | 49,793 | |
| 特別支援教育支援員（7人） | 14,910 | |
| 発達障害児巡回カウンセラー謝金 | | 590 |
| 学習指導員謝金・費用弁償 | | 105 |

**事業の成果・課題**

島しょ部を除く中学校に、特別支援教育支援員を7名配置し、障がいのある児童に対し支援を行った。専門相談員による巡回カウンセリングでは、教員や保護者に今後の支援についてアドバイスを行い、適切な指導が行えるよう支援を進めた。また、市費講師17名を配置し、教職員が生徒に向き合う時間の確保に努めた。個別の支援が必要な生徒の増加に対応するため、今後も、個別の教育的ニーズに合わせた特別支援教育支援員の効果的な配置を検討していきたい。また、9名の学習指導員が、中学校の補習学習に参加し、きめ細やかな支援を行うことで、生徒の学習意欲と学力の向上に努めた。

| 4 | 事業名 | 教職員等研修費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 380 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 380 |
| R6 | 380 | 0 | 0 | 0 | | 380 | 執行率 |
| R5 | 380 | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

学校教育を取り巻く様々な課題に対応できる実践的な教育研究を進める。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 丸亀市中学校教育研究会（22部会）委託料等 | 380 |

**事業の成果・課題**

教科部会11部会、教科外部会9部会、学校事務部会、へき地教育部会による研修を進めた。丸亀市中学校総合教育研究会を開催し、教科ごとに指導力向上に資する充実した研修を行うことができた。

| 5 | 事業名 | 人権教育フィールドワーク事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 100 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 102 |
| R6 | 100 | 0 | 100 | 0 | | 0 | 執行率 |
| R5 | 100 | | | | | | 98.04 % |

**事業の趣旨・目的**

人権に関する知的理解を深めたり、学力向上の推進を図ったりすることで、人権擁護の意識・意欲を実践行動にまで高めていくことのできる人権感覚を育成する。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 地域学力向上・キャリア教育総合推進事業費 | 100 |

**事業の成果・課題**

本事業の支援を受けた教材を活用することで基礎学力の向上がみられた。また、令和7年度は長島愛生園を訪問しハンセン病差別について学び、差別を許さない気持ちを改めて確認した。県外の小規模校とのオンラインによる交流や授業ができる場を意図的に増やし主体性や積極性の育成に取り組んだ。

（単位：千円）

| 6 | 事業名 | 学校図書館教育推進事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 13,666 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 13,822 |
| R6 | 12,855 | 0 | 0 | 0 | | 13,666 | 執行率 |
| R5 | 9,948 | | | | | | 98.87 % |

**事業の趣旨・目的**

学校司書による中学校図書館の環境整備・蔵書の補充・読書活動の推進を図り、中学校における図書館教育の充実を図る。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 会計年度任用職員（学校司書）報酬等（5人） | 13,666 |

**事業の成果・課題**

学校司書の尽力により、学校図書館として読書センター機能、学習センター機能、情報センター機能の3機能を充実させるための環境整備が進められた。中学校では、一般紙と学生新聞を合わせて、新聞が3紙配置され、その活用法の研修も進められた。また、蔵書率も年々増加しているが、まだ国が定める学校図書標準の蔵書率を満たしていない学校もあるため、更なる充実を図るとともに、電子書籍の活用を進めていく。同時に、図書館のICT化を図り、教員の授業に合わせた資料提供等の支援や、新聞等を活用して各教科を横断的に捉えた情報活用能力の育成を援助していく。

| 7 | 事業名 | 外国語指導助手招致事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 64,941 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 諸収入 | 一般財源 | 65,251 |
| R6 | 57,765 | 0 | 0 | 0 | 180 | 64,761 | 執行率 |
| R5 | 25,037 | | | | | | 99.52 % |

**事業の趣旨・目的**

小学校5、6年生及び中学生の外国語（英語）教育及び国際理解教育の向上を目指す。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 会計年度任用職員報酬等 | | 8,372 |
| 講師（1人） | 4,117 | |
| 外国語指導助手(ALT)（1人） | 4,255 | |
| 外国語指導助手(ALT)家屋賃貸料 | | 546 |
| 外国語指導助手(ALT)業務派遣委託料（9人） | | 49,112 |
| イングリッシュキャンプ業務委託料 | | 363 |
| オンライン英会話業務委託料 | | 5,802 |
| オンライン英会話用オーディオ分配アダプタ | | 625 |
| 国際交流関係負担金 | | 121 |

**事業の成果・課題**

小中学校の外国語の授業において、ALTを活用した授業の充実に取り組んだ。その結果、ネイティブ・スピーカーによる英語に触れる機会が増え、英語学習への意欲の高まりが見られた。

また、中学校において、英語のみで活動するイングリッシュキャンプを実施した。市内の中学生26名が参加し、ALTとの様々な活動を通して、英語や外国に一層興味を持ったり、意欲的に英語でコミュニケーションを取ろうとしたりする態度が見られた。

さらに、ネイティブの英語に触れ、学習した英語を使って表現する機会として、市内全中学校7校においてALTとのオンライン英会話を実施した。英会話能力の向上に加え、達成感を享受することで、学習意欲の向上が見られた。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 3 | 中学校費 | 目 | 2 | 教育振興費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 教育振興費 | | | | 担当課 | 教育部総務課<br>学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 70,225 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 寄附金 | 一般財源 | 76,546 |
| R6 | 74,472 | 1,526 | 593 | 0 | 1,650 | 66,456 | 執行率 |
| R5 | 73,623 | | | | | | 91.74 % |

**事業の趣旨・目的**

生徒就学奨励援助費については、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する事業である。【総務課】
中学校における図書・教材を充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図っていく。【学校教育課】

**実施事業の内容**

（１）教材備品費　11,036
　図書費等　3,650
　教具費　5,886
　理科教育等備品購入費　1,500

（２）生徒就学奨励援助費（給食費、学用品費等）　59,189

生徒就学奨励援助費

| 区　分 | 金　額 |
|---|---|
| 給　食　費 | 19,283 |
| 学　用　品　費　等 | 39,906 |
| 合　計 | 59,189 |

（手数料含む）

**事業の成果・課題**

経済的理由により就学が困難にならないよう、援助を必要とする生徒の保護者に必要な支援を行い、義務教育の円滑な実施に努めた。【総務課】
GIGAスクール構想の推進に必要な物品など、図書・教材を購入し、生徒の自主的、自発的な教育活動や読書活動の充実につなげることができた。また、国庫補助事業の理科教育設備整備費等補助金を活用した理科教育等備品購入費は令和5年度に全中学校への均等配分で基礎的な環境整備を一巡させた後、令和6年度より導入した「3～4校への計画的配分」により、中学校の理科教育・数学教育における実験器具等が刷新され、より高度な学習に対応した教材の導入を重点的に実施できた。【学校教育課】

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 3 | 中学校費 | 目 | 3 | 学校建設費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 中学校建設費（単独事業） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 691,823 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 寄附金等 | 一般財源 | 717,371 |
| R6 | 1,093,180 | 0 | 0 | 58,300 | 3,599 | 629,924 | 執行率 |
| R5 | 168,543 | | | | | | 96.44 % |

**事業の趣旨・目的**

中学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。

**実施事業の内容**

【予算現額のうち翌年度繰越額】（17,700）

中学校建設費 674,313

| 事業名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|
| 中学校屋内運動場他屋内照明LED化整備事業 | 539 | |
| 西中学校校舎整備事業 | 8,890 | |
| 中学校運動場照明LED化整備事業 | 495 | |
| 市内中学校消防用設備改修事業 | 2,772 | |
| 中学校特別教室空調設備事業 | 14,331 | |
| 中学校施設防犯対策事業 | 8,662 | |
| 広島小中学校整備事業 | 3,297 | 寄附金 3,297 |
| 綾歌中学校屋内運動場等改築事業 | 581,435 | 地方債 58,300 |
| 南中学校校舎空調設備改修事業 | 51,584 | |
| 中学校屋内運動場空調設備整備事業 | 2,308 | |

職員給与等 17,510

**事業の成果・課題**

学校施設の教育環境及び安全性の向上のため、広島小中学校屋内運動場照明及び南中学校運動場夜間照明のLED化に係る設計業務を実施した。また、西中学校では駐輪場の増設及び屋外通路外灯のLED化工事を完了した。

さらに、東中学校、綾歌中学校及び飯山中学校では消防設備の不良箇所を改修するとともに、飯山中学校では特別教室、技術室及び音楽室の空調機器を更新した。加えて、東中学校では電話交換機器を更新し、西中学校及び綾歌中学校等では防犯カメラを増設した。

このほか、広島小・中学校では教室増設に伴い、空調機器や書架を設置するなど、教育環境の整備・充実を図った。

また、綾歌中学校屋内運動場改築事業に伴う市道東行末馬指線道路改良工事について、学校行事や近接工事の影響により年度内の完成が見込めなくなったため、予算を繰り越した。

（単位：千円）

| 2 | 事業名 | 中学校建設費（繰越明許費・単独事業） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 312,514 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 444,022 |
| R6 | 62,775 | 0 | 0 | 72,500 | | 240,014 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | | 70.38 % |

**事業の趣旨・目的**

中学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。

**実施事業の内容**

312,514

| 事業名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|
| 綾歌中学校校舎長寿命化改修整備事業 | 978 | |
| 中学校運動場照明LED化整備事業 | 82,118 | 地方債 72,500 |
| 南中学校トイレ改修他整備事業 | 129,990 | |
| 中学校屋内運動場空調設備整備事業 | 99,428 | |

**事業の成果・課題**

綾歌中学校校舎長寿命化改修事業に伴う市道東行末馬指線道路改良に必要な土地を購入した。また、西中学校並びに東中学校運動場の夜間照明LED化改修及び南中学校南棟西トイレ改修を実施した。さらに、飯山中学校屋内運動場の空調設備を改修したほか、広島小・中学校屋内運動場空調設備設置に係る設計業務を実施した。

| 3 | 事業名 | 中学校建設費（公共事業） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 86,577 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 186,570 |
| R6 | 141,834 | 28,859 | 0 | 43,200 | | 14,518 | 執行率 |
| R5 | 136,896 | | | | | | 46.40 % |

**事業の趣旨・目的**

中学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。

**実施事業の内容**

【予算現額のうち翌年度繰越額】（99,993）

中学校建設費（公共事業）

86,577

| 事業名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|
| 綾歌中学校屋内運動場等改築事業 | 72,438 | 国 24,146<br>地方債 43,200 |
| 南中学校校舎空調設備改修事業 | 14,139 | 国 4,713 |

（単位：千円）

**事業の成果・課題**

綾歌中学校屋内運動場の改築工事は完了し、利用環境の改善を図ることができた。
また、南中学校北校舎の職員室や特別教室などの空調設備改修については、空調機器及び電気製品が想定以上に納期を要し、年度内の完成が見込めないため、予算を繰り越した。

| 4 | 事業名 | 中学校建設費（繰越明許費・公共事業） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 253,948 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 253,948 |
| R6 | 71,367 | 118,657 | 0 | 135,200 | | 91 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

中学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。

**実施事業の内容**

253,948

| 事業名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|
| 南中学校トイレ改修他整備事業 | 49,902 | 国 16,634<br>地方債 33,200 |
| 中学校屋内運動場空調設備整備事業 | 204,046 | 国 102,023<br>地方債 102,000 |

**事業の成果・課題**

前年度において国の補正予算による補助金を確保し繰り越していた、南中学校トイレ改修他整備事業では、老朽化した南棟西トイレの便器洋式化やバリアフリー化及び設備機器類の改修工事を実施した。また、中学校屋内運動場空調設備整備事業では、西中学校、南中学校、東中学校の屋内運動場空調設備の整備を完了した。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 4 | 幼稚園費 | 目 | 1 | 幼稚園費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 幼稚園管理運営費 | | | | 担当課 | 教育部総務課<br>幼保運営課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 251,827 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 保育料等 | 一般財源 | 265,509 |
| R6 | 230,645 | 48 | 2,241 | 0 | 455 | 249,083 | 執行率 |
| R5 | 263,387 | | | | | | 94.85 % |

**事業の趣旨・目的**

安全かつ快適な保育環境の維持のための管理運営を行う。

**実施事業の内容**

※一般財源のうち、地方消費税交付金50,000を幼稚園運営費に充当

（１）幼稚園施設費　3,153
- 施設管理委託料（警備委託ほか2件）　1,740
- 学校用地等借上料（城辰幼稚園ほか2園　3,736㎡）　1,108
- その他幼稚園施設維持管理経費　305

（２）幼稚園運営費　248,674
- 職員給与等　152,096
- 会計年度任用職員報酬等（講師：1人、担任補助：3人、特別支援員：15人、用務員等：7人）　73,689
- 園医（内科、耳鼻科、眼科、歯科）・薬剤師報酬　3,721
- 光熱水費　5,263
- 幼稚園施設修繕料　291
- 医療的ケア児支援業務委託料　3,924
- 保育業務支援システム使用料　1,167
- 使用料・賃借料（ＡＥＤ・車船等）　850
- 保育業務支援システム用ノートパソコン購入費(10台)　1,265
- 保育用品等備品購入費　451
- 実費徴収に係る補足給付費(7人)　186
- その他事務費等（需用費、役務費、委託費　他）　5,771

幼稚園別園児数等の状況　（単位：学級・人）

| 幼稚園名 | 学級数 | 園児数(令和7年5月1日現在) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ３歳 | ４歳 | ５歳 | 合　計 |
| 城坤幼稚園 | 4 | 25 | 10 | 19 | 54 |
| 城東幼稚園 | 3 | 11 | 16 | 21 | 48 |
| 城辰幼稚園 | 3 | 10 | 8 | 12 | 30 |
| 本島幼稚園 | 1 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| 合　　計 | 11 | 46 | 36 | 53 | 135 |

※前年度比較　（幼稚園数）±0園　（学級数）+1　（園児数）+22人

公立幼稚園等一時預かり利用者数　延べ5,218人

**事業の成果・課題**

城坤幼稚園における3歳児の増加は顕著であるが、総じて幼稚園の入園申込みは減少している。一方で、一時預かりの利用者は増加している。幼稚園でも長時間保育を希望する家庭が年々増加しており、職員の配置など勤務形態に工夫が必要である。そのような中、保育業務支援システム用のノートパソコンを購入し、保育業務のICT化を進めた。

老朽化が進む施設については、地域性等を考慮しつつ、認定こども園への移行など施設の適正配置について検討をさらに進める。

（単位：千円）

| 2 | 事業名 | 幼稚園教育研究事業費 | | | | 担当課 | 幼保運営課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 1,265 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 1,301 |
| R6 | 1,026 | 0 | 0 | 0 | | 1,265 | 執行率 |
| R5 | 836 | | | | | | 97.23 % |

**事業の趣旨・目的**

幼児の成長発達に寄与するための教職員の研修を行うとともに、より質の高い教育を提供するための研究事業に取り組む。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 幼稚園教育研究事業費 | 1,265 |

**事業の成果・課題**

幼稚園の利用を希望する家庭は減少する一方で、発達障害をはじめ、家庭環境等を踏まえた支援など、様々な要因から配慮を必要とする子どもは増加している。教職員はスキルアップを目的に県内外で開催される研修に積極的に参加し、資質向上に努めた。
預かり保育を利用する家庭は幼稚園でも増加しており、保育の長時間化による教職員の負担は増加している。指定研究発表など研修の質を確保しつつ、職員の負担軽減も踏まえ実施方法や支援体制の充実を図っていく。

| 3 | 事業名 | 私立幼稚園等運営費 | | | | 担当課 | 幼保運営課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 147,744 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 155,635 |
| R6 | 133,465 | 60,681 | 41,382 | 0 | | 45,681 | 執行率 |
| R5 | 136,854 | | | | | | 94.93 % |

**事業の趣旨・目的**

子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園に対し施設型給付を行う。また、国の幼児教育保育の無償化に伴い、国立幼稚園や新制度に移行していない幼稚園の利用者に対し、施設等利用給付を行う。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 私立幼稚園等運営費 | | 147,744 |
| 私立幼稚園施設型給付費 | 79,961 | |
| 市外公立幼稚園施設型給付費 | 1,808 | |
| 私立幼稚園（新制度未移行）保育料給付費 | 65,975 | |

**事業の成果・課題**

新制度に移行した私立幼稚園に対して施設型給付を行うことで、安定した園運営と教育・保育環境の維持を支援した。また、未移行の私立幼稚園に通う園児についても保育料の給付を行うことで、子育て世帯における経済的負担の軽減に努めた。

（単位：千円）

| 4 | 事業名 | 私学等振興費 | | | | 担当課 | 幼保運営課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 68,979 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 74,002 |
| R6 | 65,512 | 14,978 | 10,476 | 0 | | 43,525 | 執行率 |
| R5 | 59,561 | | | | | | 93.21 % |

**事業の趣旨・目的**

私立幼稚園の園児の処遇向上や当該施設を利用する子どもの給食費の免除を目的として助成する市単独の補助金のほか、様々なライフスタイルに合わせて児童の保育形態を提供するため、私立幼稚園が実施する一時預かり事業に要する経費を助成する。また、国の幼児教育保育の無償化に伴い、幼稚園の預かり保育利用者に対し、施設等利用給付を行う。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 私立幼稚園運営補助金 | | 32,529 |
| 私学振興補助金（私立幼稚園2園） | 2,903 | |
| 障がい児保育事業費補助金（1園） | 5,071 | |
| 補足給付費補助金（私立給食費） | 24,436 | |
| 芸術家派遣事業費補助金（1園） | 119 | |
| 特別保育事業費 | | 36,450 |
| 一時預かり事業費（一般型）委託料（私立幼稚園1園） | 3,335 | |
| 一時預かり事業費（幼稚園型）委託料（私立幼稚園2園） | 14,505 | |
| 私立幼稚園預かり保育利用料給付費 | 18,610 | |

**事業の成果・課題**

私立幼稚園への運営費補助や障がい児保育における特別教育支援員の配置支援を行い、教育・保育環境の充実を図った。また、芸術家派遣に係る補助金を支給し、子どもの豊かな感性を育む取組を支援することができた。さらに、給食費の無償化を継続して実施することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減に努めた。一時預かり事業については、利用者が昨年度より減少しているが、引き続きそのニーズに対応できるよう、私立幼稚園を支援していく。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 4 | 幼稚園費 | 目 | 2 | 幼稚園建設費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 各幼稚園施設補修費 | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 2,409 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 2,500 |
| R6 | 2,722 | 0 | 0 | 0 | | 2,409 | 執行率 |
| R5 | 4,620 | | | | | | 96.36 % |

**事業の趣旨・目的**

安全かつ快適な保育環境のための施設補修等を行う。

**実施事業の内容**

各幼稚園施設補修費　2,409

**事業の成果・課題**

保育環境の改善・向上を図るための施設修繕を、緊急性の高いものから随時実施している。令和7年度は、城東幼稚園の園庭遊具撤去工事や城坤幼稚園の足洗い場撤去工事を行った。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 5 | 社会教育費 | 目 | 1 | 社会教育総務費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 2 | 事業名 | 人権教育促進事業費 | | | | 担当課 | 人権課<br>学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 6,704 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 7,208 |
| R6 | 6,524 | 0 | 0 | 0 | | 6,704 | 執行率 |
| R5 | 5,641 | | | | | | 93.01 % |

**事業の趣旨・目的**

研修や啓発、実践的取組を通して、市職員、小中学校、各企業やコミュニティ等で人権・同和教育及び平和教育を推進する。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 人権・同和教育指導員報酬等（1人） | 4,034 |
| 香同教・丸同教等団体負担金 | 538 |
| 小中学校人権・同和問題研修会運営費 | 196 |
| 事務費等（需用費、旅費） | 1,936 |

**事業の成果・課題**

人権・同和教育指導員による人権研修を本市職員、市関係団体、コミュニティ等の各種団体及び事業者等に実施した。また、人権・同和問題市民意識調査の結果を研修内容や啓発活動に反映し、市民の意識の現状や課題に対応した取組の充実を図った。また、市広報紙やコラム等を活用し、同和問題をはじめとする多様な人権課題に関する理解促進に努めた。引き続き、同和問題を中心とした様々な人権課題について学ぶ機会の充実を図り、人権課題を自分事として捉える意識の醸成に向けた研修の充実に努める。【人権課】

本市独自の研修会である「小中人権・同和教育研究研修会」では、人権感覚の素地を養う教育が行われるよう、発達段階に応じた教材開発・授業等を行った。令和7年度は、全ての学校群において同和問題・多様性理解についての事業を行い、現代の主な人権課題についての理解を深めることができた。
【学校教育課】

（単位：千円）

| 3 | 事業名 | 社会教育管理費 | | | | 担当課 | まなび文化課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 206,256 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 208,453 |
| R6 | 173,086 | 0 | 0 | 0 | | 206,256 | 執行率 |
| R5 | 180,462 | | | | | | 98.95 % |

**事業の趣旨・目的**

社会教育法に基づき、社会教育委員による調査審議や助言・提言を通じて、市民の学びを支える社会教育行政の充実を図る。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 職員給与等 | 199,793 |
| 社会教育委員報酬（10人・開催回数6回） | 329 |
| 社会教育委員費用弁償 | 122 |
| 会計年度任用職員報酬等（1人） | 3,518 |
| 第5次丸亀市生涯学習推進計画策定アンケート調査等郵送料 | 693 |
| 第5次丸亀市生涯学習推進計画策定アンケート調査等業務委託料 | 1,650 |
| 事務費等 | 151 |

**事業の成果・課題**

生涯学習に関する市民アンケート調査を実施し、第4次丸亀市生涯学習推進計画の進捗状況や課題、市民ニーズを把握するとともに、次期計画策定の基礎資料を収集した。また、「丸亀市社会教育委員の会」において、アンケート結果や現行計画の総括を基に、第5次丸亀市生涯学習推進計画の策定に向けた審議を行った。その結果、学びを地域づくりや人づくりに生かす視点を継承しつつ、『誰もが自分らしくまなび、幸せで豊かに暮らせる地域社会の実現』を基本理念とする「第5次丸亀市生涯学習推進計画」を策定し、本市の生涯学習施策の今後の方向性を示した。

今後は、多様化する学習ニーズへの対応や人材活用の促進、学習成果を地域活動につなげる取組を推進し、計画の実効性向上を図っていく。

（単位：千円）

| 4 | 事業名 | 社会教育支援事業費 | | | | 担当課 | まなび文化課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 5,181 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 7,178 |
| R6 | 5,497 | 0 | 2,744 | 0 | | 2,437 | 執行率 |
| R5 | 5,658 | | | | | | 72.18 % |

**事業の趣旨・目的**

社会教育の推進に関わる団体に対する支援を行うとともに、子どもの育ちや学びを地域ぐるみで支える体制を整える。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 家庭教育支援講座等講師謝金 | | 523 |
| 業務委託料 | | 4,492 |
| 地域学校協働活動推進事業委託料（小学校区10箇所） | 4,342 | |
| 家庭教育セミナー講師派遣業務委託料 | 150 | |
| 事務費等 | | 166 |

家庭教育事業状況

| 事業名 | 回数 | 場　所 | 参加者数 | テーマ、講師 |
|---|---|---|---|---|
| 丸亀市子育て学習会 | 15回 | 各小学校 | 876人 | 「親子のコミュニケーション」<br>四国学院大学教授　会沢　勲氏　ほか |
| | 24回 | 各幼・保・こ | 566人 | 「子育て親育ち」<br>四国学院大学教授　野崎　晃広氏　ほか |
| 丸亀市家庭教育セミナー | 1回 | 丸亀市<br>猪熊弦一郎<br>現代美術館 | 68人<br>（視聴回数629回） | ～多様性への新たな一歩～<br>「子どもも大人もしあわせになるための ジェンダー平等教育」<br>星野　俊樹氏<br>（Youtubeによる動画配信　R8.3.31まで） |
| 丸亀市家庭教育講座 | 12回 | 各幼・保・こ・小・中 | 579人 | 「育つ力を養う為に」<br>香川大学教授　坂井　聡氏　ほか |

**事業の成果・課題**

家庭教育事業では、中学生までの保護者を対象に、学校等の行事に合わせて家庭教育講座や子育て学習会を実施し、子育て不安の軽減や保護者同士の交流促進を図った。また、参加者アンケートを実施し、保護者ニーズや課題を把握するとともに、その結果を学校等と共有し、今後の家庭教育支援の充実に向けた情報共有を図った。

地域学校協働活動では、各地区の地域学校協働本部を中心に、学校と地域が連携した学習支援や体験活動を推進し、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりを進めた。また、各本部を訪問し地域コーディネーターへの聞き取りを実施したことで、担い手の高齢化や後継者不足、活動内容の固定化など、各地区が抱える課題や活動の実態を具体的に把握し、事業推進に向けた方向性を整理することができた。

今後は、家庭教育講座の内容充実を図るとともに、地域学校協働活動における担い手の確保や関係者間の情報共有を進め、地域と連携しながら活動を継続できる体制づくりに取り組む。

（単位：千円）

| 5 | 事業名 | 少年教育事業費 | | | | 担当課 | まなび文化課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 4,712 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 6,602 |
| R6 | 4,501 | 0 | 0 | 0 | | 4,712 | 執行率 |
| R5 | 3,574 | | | | | | 71.37 % |

**事業の趣旨・目的**

異年齢間の交流や体験活動、地域活動への参加を通じて、少年の自立性や社会性の向上を図る。

**実施事業の内容**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会計年度任用職員報酬等（1人） | | | 2,590 |
| 少年体験活動業務委託料 | | | 430 |
| 補助金 | | | 1,691 |
| 少年団体育成補助 | | 1,191 | |
| （少年団体加入数の状況） | | | |
| 子ども会 | 6 団体 | | |
| ボーイスカウト | 1 団体 | | |
| ガールスカウト | 1 団体 | | |
| 京極町交歓研修会補助 | | 500 | |
| 事務費 | | | 1 |

**事業の成果・課題**

少年教育については、丸亀市子ども会育成連絡協議会の事務局運営や関係団体との連携を通じて、少年が学校や家庭では得られない多様な体験活動に参加する機会を提供するとともに、その活動を支える指導者の資質向上に取り組んだ。また、文化協会と連携して城辰小学校で文化芸術体験事業を実施し、児童の文化芸術への興味・関心を高めるとともに、学校と地域の連携強化につなげた。さらに、親子都市協定を締結する京極町との交歓研修では、京極町の小学生を受け入れ、交流プログラムや体験活動を実施し、参加者同士の交流や地域理解を深めることができた。

一方で、少子化や子どもを取り巻く環境の変化により子ども会等の加入者が減少しており、子ども会を対象とした取組だけでは幅広い少年への支援につながりにくい状況にある。また、交歓研修についても、両地域の歴史や文化を学び合う機会の充実が課題となっている。今後は、より多くの少年が参加できる体験活動の充実を図るとともに、交流事業の内容や実施方法について検討を進める。

（単位：千円）

| 6 | 事業名 | 二十歳の成人式開催事業費 | | | | 担当課 | まなび文化課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 2,185 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 2,684 |
| R6 | 2,412 | 0 | 0 | 0 | | 2,185 | 執行率 |
| R5 | 2,633 | | | | | | 81.41 % |

**事業の趣旨・目的**

二十歳の節目を迎えた者を祝い励ますとともに、社会の一員としての自覚と責任を育む機会として、二十歳の成人式を開催する。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 印刷製本費 | 916 |
| 式典委託料 | 891 |
| 会場借上料 | 358 |
| 事務費等 | 20 |

| 事　業　名 | 開催日 | 場　所 | 対象者数 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| 令和8年丸亀市二十歳の成人式 | 令和8.1.11 | アイレックス | 1,057人 | 845人 |

**事業の成果・課題**

二十歳の成人式では、成人式対象者で構成する実行委員会による企画・運営を行い、新成人の言葉を収録したオープニングムービーの上映や服装自由の呼び掛けなど、新たな取組を実施した。これにより、新成人の視点を取り入れた親しみやすい式典づくりを進めることができた。

一方で、式典中の私語への対応など、式典の質に関する課題が引き続き見られた。令和8年度からは、新市民会館での開催となることから、これを契機として、実行委員との協議を重ねながら式典の目的や意義の共有を図り、新成人の主体的な参加や節目としての意識の醸成につながる式典づくりを進めていく。

| 7 | 事業名 | 生涯学習推進事業費 | | | | | 担当課 | まなび文化課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | | 予算現額 |
| R7 | 1,513 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 負担金 | | 一般財源 | 2,228 |
| R6 | 551 | 0 | 0 | 0 | 53 | | 1,460 | 執行率 |
| R5 | 647 | | | | | | | 67.91 % |

**事業の趣旨・目的**

市民学級や地域いきいき講座を実施し、学習機会の提供を行う。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 地域いきいき講座講師謝金（11件） | | 100 |
| 印刷製本費 | | 410 |
| 委託料 | | 835 |
| 市民学級パンフレット配布等業務委託料 | 159 | |
| 生涯学習事業開催業務委託料 | 676 | |
| 事務費等 | | 168 |

（単位：千円）

市民講座の実施状況

| 事　業　名 | | （参考）R6 講座数 | R7 講座数 | R7 延開催数 | R7 受講者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市民学級 | 一般講座 | 12件 | 2件 | 16回 | 34人 |
| | 特別教養講座 | 8件 | 4件 | 12回 | 73人 |
| | 子ども講座 | 4件 | 4件 | 28回 | 63人 |
| | 提案型講座 | 6件 | 4件 | 12回 | 58人 |
| 指定管理者自主事業 | | 65件 | 38件 | 339回 | 6,135人 |
| 合計 | | 95件 | 52件 | 407回 | 6,363人 |

開催場所：飯山総合学習センター、市民交流活動センター他

地域いきいき講座の実施状況

| | 回　数 | 延受講者数 |
|---|---|---|
| 17地区合計 | 332回 | 9,990人 |

**事業の成果・課題**

市民学級については、幅広い世代が参加できるよう休日開催や定員拡大を行い、学習機会の提供に努めた。また、体験型講座、ボランティアガイドや認知症サポーターの養成講座を実施し、市民の学びを地域活動や地域課題への対応につなげる取組を行った。

一方、生涯学習センターの閉館に伴う講座数の減少や参加者の固定化が見られ、ライフステージに応じた講座内容の充実が十分とは言えず、働く世代や子育て世代への広がりが限定的となっており、新たなニーズや多様な視点に対応した学びの展開が課題となっている。このため、令和8年度より市民学級を発展させた講座体系の再構築と通年募集の仕組みを導入し、多様な主体の参画を促進するとともに、講座内容の充実と新たな担い手の発掘により、学びの広がりと活性化を図る。

また北海道京極町との親子都市間交流講座を相互に開催し、両市町の歴史的なつながりや地域の特色について学ぶ機会を創出するとともに、交流の促進を図ることができた。

地域いきいき講座については、各コミュニティにおいて継続的に実施され、多くの市民に身近な学習機会を提供したほか、地域に根ざした学びの場として、住民同士の交流や地域のコミュニティの活性化につながった。地域によって参加状況や取り組み内容に差が見られることから、今後も地域の実情に応じた講座運営を支援し、継続的な学習機会の確保に努めていく。

（単位：千円）

| 8 | 事業名 | 放課後子どもプラン事業費 | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 238,113 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 保育料 | 一般財源 | 240,377 |
| R6 | 224,069 | 48,951 | 56,085 | 0 | 72,296 | 60,781 | 執行率 |
| R5 | 214,216 | | | | | | 99.06 % |

**事業の趣旨・目的**

放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な居場所を設けて、子どもたちが多様な体験・活動を行うことができるよう、環境づくりを推進する事業である。

**実施事業の内容**

| | | | |
|---|---|---|---|
| (1) | 放課後留守家庭児童会事業費 | | 227,139 |
| | 放課後留守家庭児童会運営業務委託料 | 214,797 | |
| | 医療的ケア児支援業務委託料 | 900 | |
| | 備品購入費 | 1,219 | |
| | 光熱水費 | 4,086 | |
| | 過年度補助金返還金 | 2,781 | |
| | その他経費 | 3,356 | |
| (2) | 放課後子供教室事業費 | | 10,974 |
| | 放課後子どもプラン運営委員等報償費 | 8,874 | |
| | 運営委託料 | 1,905 | |
| | その他経費 | 195 | |

留守家庭児童会入会児童数（33教室）　（R8.3.31　在籍数）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 城乾第１青い鳥教室 | 36　人 | 郡家第１青い鳥教室 | 53　人 |
| 城乾第２青い鳥教室 | 26　人 | 郡家第２青い鳥教室 | 54　人 |
| 城坤第１青い鳥教室 | 66　人 | 郡家第３青い鳥教室 | 41　人 |
| 城坤第２青い鳥教室 | 69　人 | 飯野第１青い鳥教室 | 44　人 |
| 城坤第３青い鳥教室 | 65　人 | 飯野第２青い鳥教室 | 41　人 |
| 城北青い鳥教室 | 38　人 | 垂水第１青い鳥教室 | 21　人 |
| 城西第１青い鳥教室 | 53　人 | 垂水第２青い鳥教室 | 27　人 |
| 城西第２青い鳥教室 | 68　人 | 垂水第３青い鳥教室 | 30　人 |
| 城南第１青い鳥教室 | 63　人 | 岡田第１青い鳥教室 | 70　人 |
| 城南第２青い鳥教室 | 57　人 | 岡田第２青い鳥教室 | －　人 |
| 城南第３青い鳥教室 | 47　人 | 栗熊青い鳥教室 | 32　人 |
| 城南第４青い鳥教室 | 55　人 | 富熊青い鳥教室 | 52　人 |
| 城東第１青い鳥教室 | 39　人 | 飯山南第１青い鳥教室 | 58　人 |
| 城東第２青い鳥教室 | 52　人 | 飯山南第２青い鳥教室 | 19　人 |
| 城東第３青い鳥教室 | 55　人 | 飯山北第１青い鳥教室 | 70　人 |
| 城辰第１青い鳥教室 | 42　人 | 飯山北第２青い鳥教室 | 57　人 |
| 城辰第２青い鳥教室 | 32　人 | 児童数計 | 1,532　人 |

（単位：千円）

放課後子供教室開室数　　9小学校区　10教室

| 教　室　名 | 小学校区 | 開　室　場　所 |
|---|---|---|
| どっきん☆くらぶ | 城東小学校区 | 認定NPO法人 さぬきっずコムシアター |
| ろくごう夢クラブ | 城坤小学校区 | 城坤コミュニティセンター |
| わんぱくクラブ | 飯山北小学校区 | 飯山北コミュニティセンター |
| おじょもんクラブ | 飯野小学校区 | 飯野コミュニティセンター |
| みんなのみなみ　みなみのみんな | 城南小学校区 | 城南小学校、城南コミュニティセンター |
| 富っ子クラブ | 富熊小学校区 | 富熊コミュニティセンター |
| 川西辰の子教室 | 城辰小学校区 | 川西コミュニティセンター |
| coco育 | 城辰小学校区 | b&gまるがめ |
| ひまわりエルダークラブ | 城西小学校区 | 丸亀ひまわりこども園 |
| ぐんちゃんクラブ | 郡家小学校区 | 郡家コミュニティセンター |

**事業の成果・課題**

放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）は、全学年受入れに対応できるよう施設整備を行っており、令和7年度末においても待機児童は発生していない。しかし、共働き世帯の増加などにより利用児童数は増加傾向にあり、支援員の負担が大きくなっていることから、支援員の確保を図るため、処遇改善を行った。また、支援員の心理的負担を軽減するため、相談体制の充実に努めた。

放課後子供教室は、郡家校区で新たに1教室開室したほか、学校の早帰り日の増加にあわせて活動日数を拡充するなど、事業の充実を図った。放課後留守家庭児童会との連携事業を実施する教室もあり、今後も連携事業を推進するとともに、各教室の活動を支援し、子どもたちの安全・安心な居場所の確保に努めていく。

| 9 | 事業名 | 留守家庭児童会施設整備事業費（公共事業） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 18,586 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 18,586 |
| R6 | 9,592 | 12,221 | 4,380 | 0 | | 1,985 | 執行率 |
| R5 | 65,922 | | | | | | 100.00　% |

**事業の趣旨・目的**

施設の老朽化や利用児童数の増加に対応し、安全・安心な放課後等の居場所を確保するため、国庫補助金等を活用して青い鳥教室の施設整備を行う。

**実施事業の内容**

留守家庭児童会施設整備事業費　　18,586

| 教　室　名 | 事　　業　　名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|---|
| 城東青い鳥教室 | 城東青い鳥教室施設整備事業 | 18,586 | 国　12,221<br>県　4,380 |

**事業の成果・課題**

城東小学校改築工事に合わせて進めてきた城東第2青い鳥教室の整備について、国の補助金を活用して令和7年度に完了した。

（単位：千円）

| 10 | 事業名 | 留守家庭児童会施設整備事業費（繰越明許費・公共事業） | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | 予算現額 |
| R7 | 7,750 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 一般財源 | 7,750 |
| R6 | — | 5,167 | 0 | 0 | 2,583 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

施設の老朽化や利用児童数の増加に対応し、安全・安心な放課後等の居場所を確保するため、国庫補助金等を活用して青い鳥教室の施設整備を行う。

**実施事業の内容**

留守家庭児童会施設整備事業費 7,750

| 教　室　名 | 事　　業　　名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|---|
| 城東青い鳥教室 | 城東青い鳥教室施設整備事業 | 7,750 | 国 5,167 |

**事業の成果・課題**

城東小学校改築工事の遅延に伴い、予算を繰り越して進めてきた城東第2青い鳥教室の整備は、令和7年度に完了した。

（単位：千円）

| 11 | 事業名 | 留守家庭児童会施設整備事業費（単独事業） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 14,958 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 16,319 |
| R6 | 8,605 | 0 | 0 | 0 | | 14,958 | 執行率 |
| R5 | 55,925 | | | | | | 91.66 % |

**事業の趣旨・目的**

施設の老朽化や利用児童数の増加に対応し、安全・安心な放課後等の居場所を確保するため、青い鳥教室の施設整備を行う。

**実施事業の内容**

留守家庭児童会施設整備事業費 14,958

| 教　室　名 | 事　　業　　名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|---|
| 城東青い鳥教室 | 城東青い鳥教室施設整備事業 | 8,798 | |
| 城辰青い鳥教室 | 城辰青い鳥教室施設整備事業 | 6,160 | |

**事業の成果・課題**

城東第2青い鳥教室の整備のほか、城辰小学校長寿命化工事に際し、城辰青い鳥教室を校舎外に新築するための実施設計を行った。

| 12 | 事業名 | 留守家庭児童会施設整備事業費（繰越明許費・単独事業） | | | | 担当課 | 教育部総務課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 2,240 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 2,240 |
| R6 | — | 0 | 0 | 0 | | 2,240 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

施設の老朽化や利用児童数の増加に対応し、安全・安心な放課後等の居場所を確保するため、青い鳥教室の施設整備を行う。

**実施事業の内容**

留守家庭児童会施設整備事業費 2,240

| 教　室　名 | 事　　業　　名 | 事業費 | 特定財源 |
|---|---|---|---|
| 城東青い鳥教室 | 城東青い鳥教室施設整備事業 | 2,240 | |

**事業の成果・課題**

城東小学校改築工事の遅延に伴い、予算を繰り越して進めてきた城東第2青い鳥教室の整備は、令和7年度に完了した。

（単位：千円）

| 13 | 事業名 | ＰＴＡ活動推進費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 3,000 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 3,000 |
| R6 | 2,500 | 0 | 0 | 0 | | 3,000 | 執行率 |
| R5 | 2,500 | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀市内における単位PTAの相互連絡を緊密にし、かつその共同事業の推進を図り、活力あるPTA活動を行うことで、子どもの健全育成と教育環境の改善を行う。

**実施事業の内容**

PTA連絡協議会育成補助金　3,000

**事業の成果・課題**

「子どもも大人もしあわせになるためのジェンダー平等教育」をテーマとした合同研修会を実施し多様性に関する正しい理解の促進を図った。併せて、子どもたちの健やかな成長を支える環境作りに向け、家庭・学校・地域における多様性尊重の意識啓発に取り組んだ。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 5 | 社会教育費 | 目 | 2 | 公民館費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 公民館管理運営費 | | | | 担当課 | まなび文化課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 5,860 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 5,917 |
| R6 | 6,322 | 0 | 0 | 0 | | 5,860 | 執行率 |
| R5 | 6,523 | | | | | | 99.04 % |

**事業の趣旨・目的**

公民館の管理運営を行うとともに、生涯学習団体の活動を支援し、生涯学習を推進する。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 東小川公民館指定管理委託料 | 5,755 |
| 県公民館連絡協議会負担金 | 98 |
| 事務費等 | 7 |

コミュニティセンター等で実施する生涯学習クラブ活動の状況

| 施設名 | 生涯学習クラブ | | | |
|---|---|---|---|---|
| | クラブ数 | 会員数 | 活動回数 | 前年度活動回数 |
| 生涯学習センター（まなび舎土居） | 31 | 440人 | 396回 | 712回 |
| 東小川公民館 | 9 | 121人 | 337回 | 340回 |
| 飯山総合学習センター | 18 | 247人 | 480回 | 420回 |
| 小　　計 | 58 | 808人 | 1,213回 | 1,472回 |
| 15地区ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ計 | 250 | 3,585人 | 8,593回 | 8,257回 |
| 合　　計 | 308 | 4,393人 | 9,806回 | 9,729回 |

（単位：千円）

**事業の成果・課題**

東小川公民館は、本市南部地区における生涯学習活動拠点の一つとして適切な管理運営が実施されている。また、各地域のコミュニティセンターにおいても、地域に密着した生涯学習や交流の場として活発に利用されている。

生涯学習クラブへの支援については、活動の拠点として、公民館及びコミュニティセンター等における活動環境の維持に努めるとともに、生涯学習センター閉館に伴う活動場所の移行支援を行い、各クラブの継続的な活動の確保につなげることができた。

一方で、利用者の高齢化やクラブ数の減少、活動内容の固定化が進んでおり、施設使用料の減免を中心とした従来の支援では、活動の活性化や新規参加の拡大に結び付いていない状況が見られる。こうした課題を踏まえ、クラブがより主体的かつ柔軟に活動できるよう生涯学習クラブの登録要項の見直しを行い、登録要件の緩和や情報発信の強化など、令和8年度からの運用開始に向けた準備を進めた。

今後は、見直し後の登録制度を活用しながら、活動内容の周知や情報発信を強化、新規参加者の獲得や担い手の育成につなげるとともに、各クラブの自主的・継続的な活動を支援することで生涯学習活動の活性化を図っていく。

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 5 | 社会教育費 | 目 | 4 | 少年育成センター費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 少年育成センター運営事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 16,500 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 寄附金 | 一般財源 | 16,812 |
| R6 | 15,588 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 15,500 | 執行率 |
| R5 | 19,667 | | | | | | 98.14 % |

**事業の趣旨・目的**

補導・相談・育成の各業務に専門指導員を配置し、業務の中心的役割を担いながら、関係機関や関係団体、及び学校と連携して少年の健全育成に取り組む。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 少年育成センター運営協議会委員報酬及び旅費（1回） | 66 |
| 会計年度任用職員（少年育成センター所長及び専門指導員）報酬等（4人） | 15,709 |
| 少年育成活動団体補助金 | 338 |
| その他運営事業費 | 387 |

**事業の成果・課題**

少年育成センター運営協議会委員から意見をいただきながら、関係機関や団体、学校等と連携して業務に取り組むことで、青少年の健全育成を図ることができた。

| 2 | 事業名 | 少年育成センター活動事業費 | | | | 担当課 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 3,388 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 3,969 |
| R6 | 3,492 | 0 | 45 | 0 | | 3,343 | 執行率 |
| R5 | 3,525 | | | | | | 85.36 % |

**事業の趣旨・目的**

学校・地域・関係機関及び関係団体と連携しながら補導・相談・健全育成を中心とする活動を行い、少年の非行や不良行為の防止に取り組むとともに、健全育成のための啓発や地域環境浄化に努める。

（単位：千円）

## 実施事業の内容

| | |
|---|---|
| 補導員等活動旅費 | 1,473 |
| 補導員等災害補償保険料 | 162 |
| 育成だより「かめっこ」印刷製本費（3回） | 436 |
| 通学路危険表示旗作成委託料 | 262 |
| その他活動事業費 | 1,055 |

街頭補導活動状況

| 月 | 実施回数 | 補導員延人数 | 愛の一声実施人数 | 補導した少年数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 35 回 | 64 人 | 432 人 | 12 人 | |
| 5 | 37 | 68 | 331 | 8 | （補導員数） |
| 6 | 36 | 74 | 276 | 12 | |
| 7 | 36 | 74 | 232 | 14 | 職員 4 人 |
| 8 | 30 | 66 | 139 | 9 | |
| 9 | 40 | 85 | 254 | 42 | 補導指導員 13 人 |
| 10 | 38 | 85 | 219 | 8 | |
| 11 | 33 | 69 | 205 | 4 | 補導員 142 人 |
| 12 | 30 | 61 | 258 | 13 | |
| 1 | 37 | 70 | 256 | 9 | |
| 2 | 32 | 70 | 199 | 19 | 合計 159 人 |
| 3 | 29 | 61 | 324 | 15 | |
| 計 | 413 | 847 | 3,125 | 165 | |

通報受理状況　（単位 件数）

| 種別 | 内容 | 計 |
|---|---|---|
| 不審者通報 | 痴漢 | 0 |
| | 身体接触 | 2 |
| | 露出 | 1 |
| | つきまとい | 1 |
| | 声かけ | 7 |
| | 盗撮 | 0 |
| | 無断撮影 | 3 |
| | 不審行動 | 0 |
| | その他 | 0 |
| | 計 | 14 |

（単位 件数）

| 種別 | 内容 | 計 |
|---|---|---|
| 一般通報 | 器物損壊 | 0 |
| | 学校侵入 | 0 |
| | 喫煙関係 | 1 |
| | 飲酒関係 | 0 |
| | 暴走行為 | 0 |
| | 迷惑行為 | 0 |
| | 危険玩具関係 | 0 |
| | 家出関係 | 1 |
| | 落書き | 0 |
| | たまり場情報 | 2 |
| | 窃盗・万引き | 1 |
| | その他 | 28 |
| | 計 | 33 |

相談受理状況

| 学識別 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 来所相談 | 1 | 2 | 0 | 6 | 9 |
| 電話相談 | 5 | 18 | 6 | 9 | 38 |
| 合計 | 6 | 20 | 6 | 15 | 47 |
| （うち、いじめ相談） | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |

各会議開催状況

| 会　　議　　名 | 開催数（回） |
|---|---|
| 運営協議会 | 1 |
| 補導員研修会 | 1 |
| 青少年健全育成推進協議会（研修会を含む） | 2 |
| 非行防止定例情報交換会 | 11 |
| 少年を守る会（研修会を含む） | 3 |
| 万引き防止対策推進協議会 | 1 |

啓発活動の状況

・「STOP！いじめ。ピンクのシャツ運動」普及事業（シャツ貸出）14件
・万引き防止キャンペーン　1回
・カード及びチラシによる相談窓口周知　各1回
・メール等による相談窓口周知　7回

善行少年表彰

| | 小学校 | 中学校 | 高　校 | 合　　計 |
|---|---|---|---|---|
| 個人(団体) | 5(2) | 7(3) | 2 | 14人（5団体） |

白ポスト(悪書)回収

・市内20箇所
　書籍1,239冊(有害1,071冊・無害168冊)　　DVD等1,058本(有害1,032本・無害26本)

**事業の成果・課題**

補導員を伴った街頭補導活動を年間を通して実施した。特に少年が集まりやすいショッピングモールのフードコートやゲームコーナーを中心に積極的に声かけを行い（3,125名）少年の被害・非行防止に努めた。また定期的に学校、警察、西部こども相談センター、家庭裁判所等の関係機関と情報交換・連携を図り非行防止対策を検討した。

相談業務においては、相談リーフレットやカード、メールなどで窓口の周知を行った。相談者の悩みを傾聴し解決への見通しにつながる対応に努めた。

育成業務においては啓発活動に力を入れ、お城まつりパレード、中学校あいさつ運動等でピンクTシャツを着用してもらい、いじめ防止キャンペーンに取り組んだ。また、白ポスト回収を定期的に行い、環境浄化を図ることができた。

育成だより「かめっこ」には、小中学生の活動や、コミュニティの活動等を掲載し内容の充実に努めている。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 5 | 社会教育費 | 目 | 8 | 資料館費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 資料館管理運営費 | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 45,700 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 諸収入 | 一般財源 | 48,857 |
| R6 | 47,957 | 0 | 0 | 0 | 59 | 45,641 | 執行率 |
| R5 | 45,177 | | | | | | 93.54 % |

**事業の趣旨・目的**

郷土の歴史・文化に関する調査・研究の成果を広く市民に公開し、歴史遺産の普及・啓発に努める。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 職員給与等 | | 25,413 |
| 資料館学芸委員報酬等　（5人） | | 40 |
| 会計年度任用職員報酬等　（2人） | | 7,266 |
| 光熱水費 | | 3,311 |
| 印刷製本費 | | 1,367 |
| 委託料 | | 5,405 |
| 施設管理業務（館外周緑地芝刈・剪定業務委託料ほか 8件） | 2,135 | |
| 運営業務　（害虫駆除業務委託料ほか 2件） | 263 | |
| 企画展示業務（企画展示用運搬等業務委託料ほか 16件） | 3,007 | |
| 備品費 | | 386 |
| 庁用器具費 | 62 | |
| 図書費 | 28 | |
| 郷土資料等購入費 | 296 | |
| 負担金補助金 | | 26 |
| 日本博物館協会会費ほか 2件 | 26 | |
| 事務費等（使用料及び賃借料、需用費、役務費　他） | | 2,486 |

1階企画展示室　展示状況

| 展示名称 | 出品点数（点） | 開催日数（日） | 入場者（人） 総数 | 入場者（人） 1日平均 |
|---|---|---|---|---|
| 市民展（書道） | 58 | 2 | 535 | 268 |
| 市制施行20周年記念 丸亀の旅 | 119 | 44 | 4,020 | 91 |
| 京友禅 きものの美 | 42 | 45 | 4,381 | 97 |
| 合　計 | 219 | 91 | 8,936 | 98 |

2階常設展示室　展示状況

| 展示名称 | | 出品点数（点） | 開催日数（日） | 入場者（人） 総数 | 入場者（人） 1日平均 |
|---|---|---|---|---|---|
| 生駒・山﨑・京極の歴史と文化展（常設展示） | | 57 | 285 | 16,001 | 56 |
| ミニ企画 | なつかしの看板たち | 17 | 35 | — | — |
| | 重要伝統的建造物群保存地区<br>本島町笠島と塩飽大工 | 17 | 70 | — | — |
| | 模型でめぐる西日本のお城 | 11 | 109 | — | — |
| | 田川赫となつかしの民具たち | 24 | 71 | — | — |
| 合　計 | | 126 | 285 | 16,001 | 56 |

（単位：千円）

1階ロビー展　展示状況

| 展　　示　　名　　称 | 出品点数(点) | 開催日数(日) |
|---|---|---|
| 変り兜 | 6 | 218 |
| 城西小4年生（R6年度）校外学習成果の展示 | 12 | 52 |
| 模型でめぐる西日本のお城 | 9 | 71 |
| 城西小4年生（R7年度）校外学習成果の展示 | 7 | 71 |

屋外民具展示室・館外　展示状況

| 展　　示　　名　　称 | 出品点数(点) | 開催日数(日) |
|---|---|---|
| 団扇および民俗資料展示 | 163 | 282 |
| パネル展示「笠島地区の寄り道スポットをご紹介」<br>（本島町笠島ふれあいの館） | 38 | ― |

資料館資料整備状況（令和7年度末現在）

| 区分 | 歴　史　資　料 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 古文書　書籍 | 絵図・地図 | 絵画・版画 | 書・短冊 | 城関係 |
| 本年度増加数 | 57点 | 24点 | 30点 | 1点 | 1点 |
| 現在数 | 19,900点 | 919点 | 2,334点 | 1,772点 | 833点 |

| 民俗資料 | 写真資料 | その他の資料 | | | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 考古資料 | 建造物 | 工芸品 | |
| 26点 | 22点 | 0点 | 1点 | 0点 | 162点 |
| 10,584点 | 2,682点 | 239点 | 160点 | 181点 | 39,604点 |

資料の特別利用及びレファレンス件数

| 特別利用<br>（閲覧・撮影・複写・貸出） | レファレンス等による調査・回答 | 合　計 |
|---|---|---|
| 56件 | 142件 | 198件 |

**事業の成果・課題**

令和7年度は、市制施行20周年を記念し、江戸時代の旅をテーマに郷土丸亀の旅を紹介する展示を行うとともに、近年のインバウンド需要の拡大を踏まえ、日本の伝統文化である着物に焦点を当てた企画展を開催した。今後も郷土に関する展示を中心に魅力ある展覧会を企画し、市民や観光客の利用促進に努める。

（単位：千円）

| 2 | 事業名 | 京極家資料調査・修復等事業費 | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 1,211 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 1,250 |
| R6 | 2,991 | 0 | 0 | 0 | | 1,211 | 執行率 |
| R5 | 2,072 | | | | | | 96.88 % |

**事業の趣旨・目的**

京極家ゆかりの資料を調査及び修復し広く公開することで、郷土丸亀の歴史教育の一端を担う。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 印刷製本費 | | 113 |
| 委託料 | | 1,098 |
| （京極家絵図の表装業務委託料ほか 1件） | 1,098 | |

**事業の成果・課題**

京極家資料のうち、保存状態や活用頻度を考慮し、修復の優先度が高い絵画や書などの表具を仕立て直した。これにより、資料の保存性の向上を図るとともに、展示利用や調査・研究における利便性を高めることができた。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 5 | 社会教育費 | 目 | 12 | 史跡等整備費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 2 | 事業名 | 文化財保護事業費 | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 22,807 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 諸収入 | 一般財源 | 23,414 |
| R6 | 19,369 | 0 | 0 | 0 | 22 | 22,785 | 執行率 |
| R5 | 17,910 | | | | | | 97.41 % |

**事業の趣旨・目的**

市内に所在する文化財の適切な保護に努めるとともに、文化財を研究・学習の教材や観光資源等として広く活用することにより、文化財保護に対する住民意識の高揚を図る。

**実施事業の内容**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会計年度任用職員報酬等（2人） | | | 6,805 |
| 印刷製本費 | | | 834 |
| 修繕料 | | | 525 |
| 委託料 | | | 6,258 |
| 史跡塩飽勤番所跡指定管理委託料 | | 3,838 | |
| 文化財草刈清掃業務委託料（青ノ山古墳群、本島等） | 3件 | 1,781 | |
| その他 | 5件 | 639 | |
| ＡＥＤ借上料（丸亀城天守・塩飽勤番所跡・まち並保存センター） | | | 124 |
| 負担金 | 3件 | | 75 |
| 補助金 | | | 5,731 |
| 文化財保護協会補助金 | | 400 | |
| 岡田おどり保存会補助金 | | 51 | |
| 坂本念仏踊保存会補助金 | | 280 | |
| 公益財団法人中津万象園保勝会補助金 | | 5,000 | |
| 工事費 | 2件 | | 1,232 |
| 事務費等（需用費、報償費、旅費　他） | | | 1,223 |

（単位：千円）

文化財保護事業の状況

| 事　　業　　名 | 回数等 | 場　　所 | 参加者数(人) |
|---|---|---|---|
| 文化財防火デー防火演習 | 1回 | 丸亀市立資料館 | 47人 |

**事業の成果・課題**

塩飽勤番所跡においては指定管理制度により施設の適切な管理に努めた。また、青ノ山古墳群や本島の文化財などにおいては草刈り清掃を実施し、適切な維持管理に努めた。併せて、文化財保持団体に対しては補助金を交付し、活動を支援することで、文化財の保存継承に努めた。

| 3 | 事業名 | 埋蔵文化財調査事業費（公共） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 2,740 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 2,740 |
| R6 | 3,401 | 1,370 | 0 | 0 | | 1,370 | 執行率 |
| R5 | 3,036 | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為や史跡内の保存整備などを行う際に、あらかじめ範囲内の遺跡の有無を含めた確認調査等を実施し、市内遺跡の適切な保存、活用に努める。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 印刷製本費 | 458 |
| 委託料 | 665 |
| 　発掘作業業務派遣委託料 | |
| 発掘用重機等借上料 | 1,553 |
| 事務費等 | 64 |

**事業の成果・課題**

市内の史跡や開発行為地内などの遺跡において、確認調査3件と試掘調査8件を実施し、埋蔵文化財の適切な保護に努めた。また、それら発掘調査の成果を報告書として刊行した。

| 4 | 事業名 | 埋蔵文化財調査事業費（単独） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 22,861 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 23,235 |
| R6 | 19,477 | 0 | 40 | 0 | | 22,821 | 執行率 |
| R5 | 11,059 | | | | | | 98.39 % |

**事業の趣旨・目的**

市内遺跡の適切な保護を図るため、調査により得られたデータを報告書として保存し、その公開や説明会等に活用することで、埋蔵文化財に対する理解と保護の意識高揚に努める。

（単位：千円）

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 埋蔵文化財調査員報酬等（6人） | 20,882 |
| 労災保険料 | 87 |
| 委託料 | 462 |
| 埋蔵文化財箇所データ作成業務委託料 | |
| 使用料及び賃借料 | 197 |
| デジタルトレース機器借上料 | |
| 備品購入費 | 99 |
| 印刷製本費 | 572 |
| 事務費等 | 562 |

**事業の成果・課題**

大手町立体駐車場ほか1件の建設に伴う発掘調査を実施し記録保存を行った。今後、調査成果をまとめた報告書を作成するため、検出された遺構や遺物の整理作業を進める。

| 5 | 事業名 | 史跡丸亀城跡城内施設活用事業費 | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 27,136 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 天守入場料等 | 一般財源 | 27,800 |
| R6 | 29,705 | 0 | 0 | 0 | 11,608 | 15,528 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | | 97.61 % |

**事業の趣旨・目的**

延寿閣別館を活用した城泊事業をはじめ、丸亀城天守と大手一の門を加えた城内3施設を連携した活用により丸亀城の知名度向上および集客数の増加を図る。

**実施事業の内容**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 印刷製本費 | | | 1,630 |
| 委託料 | | | 24,382 |
| 施設管理委託料 | | 23,116 | |
| 令和7年度天守入場者数　115,772人 | | | |
| 業務委託料 | 3件 | 1,266 | |
| 使用料及び賃借料 | | | 825 |
| 事務費等 | | | 299 |

**事業の成果・課題**

天守や延寿閣別館等の城内施設について指定管理者による管理運営を継続するとともに、城内案内看板の改修・新設や、大手一の門・延寿閣別館のパンフレット作成を行い、情報発信の充実と来場者サービスの向上を図った。

（単位：千円）

| 6 | 事業名 | 埋蔵文化財整理事務所施設費 | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 1,251 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 1,325 |
| R6 | 755 | 0 | 0 | 0 | | 1,251 | 執行率 |
| R5 | 2,099 | | | | | | 94.42 % |

**事業の趣旨・目的**

埋蔵文化財整理事務所において、市内遺跡の出土遺物を収集・整理し、報告書の作成を行うとともに、適切な遺物の保管および展示を通して、埋蔵文化財に対する理解と啓発を図る。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 光熱水費 | 498 |
| 修繕料 | 127 |
| 事務費等 | 626 |

**事業の成果・課題**

埋蔵文化財整理事務所の適切な運営および維持管理に努めるとともに、出土遺物の整理・保管を行い、報告書の作成作業へとつなげることができた。

| 7 | 事業名 | 史跡丸亀城跡整備推進費 | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 12,951 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 天守入場料等 | 一般財源 | 13,210 |
| R6 | 11,779 | 0 | 0 | 0 | 1,081 | 11,870 | 執行率 |
| R5 | 25,472 | | | | | | 98.04 % |

**事業の趣旨・目的**

史跡丸亀城跡の維持管理を行い、文化財として適切に保存・公開するとともに、観光資源としても活用できるよう整備する。

**実施事業の内容**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 印刷製本費 | | | 999 |
| 修繕料 | 5件 | | 1,000 |
| 委託料 | | | 7,942 |
| 施設管理委託料 | 1件 | 82 | |
| 業務委託料 | 5件 | 7,860 | |
| 使用料及び賃借料 | | | 2,453 |
| PR館借上料等（年間来館者数　12,115人） | | 2,453 | |
| 事務費等 | | | 557 |

**事業の成果・課題**

丸亀城天守の外壁や大手一の門・二の門の木柵の修繕を行うなど、文化財の適切な維持管理に努めた。また、石垣復旧事業の大人用・こども用パンフレットを作成し、石垣復旧PR館において配布・活用した。さらに、体験イベントの実施等を通じて来訪者への理解促進と情報発信の充実を図った。

（単位：千円）

| 8 | 事業名 | 史跡丸亀城跡整備推進費（繰越明許費） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 497 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 700 |
| R6 | — | 0 | 0 | 0 | | 497 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | | 71.00 % |

**事業の趣旨・目的**

史跡丸亀城跡の維持管理を行い、文化財として適切に保存・公開するとともに、観光資源としても活用できるよう整備する。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 印刷製本費 | | 497 |

**事業の成果・課題**

丸亀城天守、大手一の門、玄関先御門において実施した年輪年代法による部材調査の成果を取りまとめ、建造物の創建年代や改修履歴の解明に資する報告書を作成した。

| 9 | 事業名 | まち並保存推進費 | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 11,410 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 寄附金 | 一般財源 | 11,746 |
| R6 | 7,080 | 0 | 3,500 | 0 | 4,030 | 3,880 | 執行率 |
| R5 | 5,677 | | | | | | 97.14 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区の適切な保存を行うとともに、研究・学習の場や観光資源等として広く活用することにより、文化財保護に対する住民の意識の高揚を図る。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 委員報酬等 | | 259 |
| 伝統的建造物群保存地区保存審議会（10人） | | |
| 修繕料 | | 967 |
| 笠島まち並保存センター等指定管理委託料 | | 4,796 |
| 笠島まち並保存センター等借上料 | | 195 |
| 業務委託料 | 6件 | 4,189 |
| 事務費等（需用費、旅費、使用料及び賃借料　他） | | 1,004 |

**事業の成果・課題**

笠島まち並保存センターを含む保存地区内の3施設については、指定管理者制度により、公開施設の適正な維持管理に努めた。本保存地区内では、住民の高齢化や過疎化に伴い、空き家などの老朽家屋の修繕・管理が課題となっていることから、関係機関やNPO法人等と連携し、課題の解決に努めるとともに、まち並みの保存および観光資源としての活用に取り組んだ。また、重要伝統的建造物群保存地区選定40周年記念事業を実施し、保存地区の魅力発信と認知度向上に努めた。

（単位：千円）

| 10 | 事業名 | 丸亀城石垣保全調査事業費 | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 34,297 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 34,421 |
| R6 | 25,857 | 12,314 | 0 | 0 | | 21,983 | 執行率 |
| R5 | 19,981 | | | | | | 99.64 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀城石垣のうち最も高さのある三の丸北側石垣及び本丸北西部石垣において、石垣下部の地盤変位量、地下水位の観測調査を継続的に行い、安全性を確認するとともに各石垣のレーザー測量を計画的に行い、はらみや変形などの確認ならびにデジタル化を図る。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 業務委託料 | | 34,221 |
| 史跡丸亀城跡三の丸南部他石垣測量業務委託料 | 24,629 | |
| 史跡丸亀城跡三の丸他石垣変位量計測業務委託料 | 3,190 | |
| 史跡丸亀城跡北部水位・地盤変位観測業務委託料 | 6,402 | |
| 事務費等 | | 76 |

**事業の成果・課題**

継続的に実施している三の丸北側石垣・本丸北西部石垣下部の地盤変位や地下水位の計測ならびに当該石垣の変位量計測を行い、大きな変状が無いことを確認した。引き続きこれらモニタリング調査を行いながら、現状を確認していく。また、三の丸南部石垣においては、レーザー測量を実施し、はらみや変形などを確認するとともに石垣の図面や写真などのデジタル化を図った。引き続き未測量の石垣を対象に計画的に測量を行い、石垣の安全性の確認ならびにデジタル化を推進していく。

| 11 | 事業名 | 古墳等整備推進費 | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 1,096 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 1,200 |
| R6 | 1,787 | 0 | 0 | 0 | | 1,096 | 執行率 |
| R5 | 1,509 | | | | | | 91.33 % |

**事業の趣旨・目的**

国指定史跡である快天山古墳について、適切な維持管理を行うとともに、周知・啓発活動に努める。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 業務委託料 | 3件 | 819 |
| 仮設トイレ借上料 | | 90 |
| 事務費等 | | 187 |

**事業の成果・課題**

樹木の剪定・伐採や草刈、トイレ清掃を実施し、史跡指定範囲内の環境維持保全に努めた。また、快天山古墳パンフレットの増刷などを行い、調査成果の周知・啓発に取り組んだ。貴重な文化財を次の世代へ確実に継承していくという視点に立ち、今後とも適切な維持管理を継続し、快天山古墳の周知・啓発にも引き続き取り組んでいく。

（単位：千円）

| 12 | 事業名 | 丸亀城保存整備費（公共事業） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 3,131 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 811,000 |
| R6 | 830 | 0 | 0 | 3,100 | | 31 | 執行率 |
| R5 | 440 | | | | | | 0.39 % |

**事業の趣旨・目的**

崩落した三の丸坤櫓（ひつじさるやぐら）跡石垣と帯曲輪（おびぐるわ）南西部石垣を復旧する。

**実施事業の内容**

【予算現額のうち翌年度繰越額】（807,869）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 委員報酬等 | | | 847 |
| 丸亀城石垣復旧専門部会（5人） | | | |
| 委託料 | | | 2,267 |
| 業務委託料 | 2件 | 2,267 | |
| 事務費等 | | | 17 |

**事業の成果・課題**

引き続き帯曲輪石垣の積上げ工事を実施しながら、令和7年度には三の丸石垣の積上げ工事に着手している。また、崩落石材の回収や石垣解体の過程で確認された「敷金」と呼ばれる鉄製品について、保存処理および成分分析を行い、代替品作成に向けた基礎資料の作成を行った。

| 13 | 事業名 | 丸亀城保存整備費（公共・繰越明許費） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 733,176 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 733,177 |
| R6 | 299,381 | 513,804 | 10,000 | 209,300 | | 72 | 執行率 |
| R5 | 497,719 | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

崩落した三の丸坤櫓（ひつじさるやぐら）跡石垣と帯曲輪（おびぐるわ）南西部石垣を復旧する。

**実施事業の内容**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 委員報酬等 | | | 123 |
| 丸亀城石垣復旧専門部会（5人） | | 123 | |
| 工事費 | 2件 | | 733,053 |

**事業の成果・課題**

令和6年8月より帯曲輪石垣地中部の積上げ工事を継続して実施しており、崩落前の写真や測量図が残る地上部の一部まで積み上げを完了した。なお、地中部の施工は引き続き必要であることから、今後も三の丸石垣と併せて計画的に工事を進め、事業の着実な進捗を図っていく。

（単位：千円）

| 14 | 事業名 | 丸亀城保存整備費（単独事業） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 8,078 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 基金運用利子 | 一般財源 | 8,090 |
| R6 | 12,714 | 0 | 0 | 100 | 7,688 | 290 | 執行率 |
| R5 | 37,218 | | | | | | 99.85 % |

**事業の趣旨・目的**

崩落した三の丸坤櫓（ひつじさるやぐら）跡石垣と帯曲輪（おびぐるわ）南西部石垣を復旧する。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 委託料 | | 3,383 |
| 建設工事関連委託料 | 5件 | 3,383 |
| 使用料及び賃借料 | | 4,180 |
| 工事費 | 2件 | 515 |

**事業の成果・課題**

石材製作や石垣復旧工事に係る実施設計書を作成するとともに、石垣復旧に用いる盛土材の再検討のための各種予備試験業務を行った。また、現場内の支障木撤去を実施し、事業の着実な進捗を図った。

| 15 | 事業名 | まち並保存事業費（公共事業） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 14,222 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 基金運用利子 | 一般財源 | 14,222 |
| R6 | 9,004 | 7,111 | 0 | 0 | 301 | 6,810 | 執行率 |
| R5 | 42,065 | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区のまち並み整備を図るため、国庫補助を受けて地区内建物等の修理・修景を行うとともに、観光や学習機会の誘致を通じて地域の活性化を図る。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 笠島伝統的建造物群保存修理事業補助金 | 2件 | 14,204 |
| 事務費等 | | 18 |

**事業の成果・課題**

伝統的建造物群保存地区内の建物の修理・修景事業に対する補助を実施し、歴史的景観の保全と活用の推進に努めた。

（単位：千円）

| 16 | 事業名 | まち並保存事業費（単独事業） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 12,396 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 寄附金 | 一般財源 | 13,525 |
| R6 | 7,047 | 0 | 0 | 0 | 3,000 | 9,396 | 執行率 |
| R5 | 6,054 | | | | | | 91.65 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区において、まち並みの復元整備を図るため、地区内の建物等の修理・修景のうち国庫補助の対象とならない小規模または突発的な工事の実施及びその補助を行う。

**実施事業の内容**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 補助金 | | | 6,292 |
| 保存修理事業　8件　　修景事業　1件 | | 4,792 | |
| その他 | 1件 | 1,500 | |
| 業務委託料 | 3件 | | 1,622 |
| 工事費 | 5件 | | 3,807 |
| 事務費等 | | | 675 |

**事業の成果・課題**

市単独補助事業により、家屋等の保存修理事業を8件、修景事業を1件実施し、笠島のまち並みの保存および景観の維持に努めた。伝統的建造物群保存地区では、高齢化や過疎化に伴う空き家や老朽家屋の維持管理が課題となっていることから、NPO法人等と連携し、物件所有者への働きかけを行うなど、適正な保存と活用に努めていく。

| 17 | 事業名 | まち並保存事業費（単独事業・繰越明許費） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 8,829 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 9,360 |
| R6 | — | 0 | 0 | 0 | | 8,829 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | | 94.33 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区において、まち並みの復元整備を図るため、地区内の建物等の修理・修景のうち国庫補助の対象とならない小規模または突発的な工事の実施及びその補助を行う。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 補助金 | | 5,969 |
| 保存修理事業　3件　　修景事業　4件 | | |
| 業務委託料 | 1件 | 2,860 |

**事業の成果・課題**

市単独補助事業により、家屋等の保存修理事業3件及び修景事業4件を実施し、笠島のまち並みの保存と景観の維持に努めた。また、高齢化や人口減少に伴う空き家等の課題に対応するため、NPO法人等と連携して所有者への働きかけを行い、建物の適切な保存・活用を推進した。さらに、現況調査を実施し、建物の保存状況及び住民意識の把握を行った。

（単位：千円）

| 18 | 事業名 | 史跡快天山古墳整備事業費（公共事業） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 12,716 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 12,914 |
| R6 | 4,110 | 6,315 | 0 | 0 | | 6,401 | 執行率 |
| R5 | 2,380 | | | | | | 98.47 % |

**事業の趣旨・目的**

史跡快天山古墳の保存整備計画策定に必要な基礎資料とするため、埋葬施設の構造および保存状態などを、発掘調査により確認する。

**実施事業の内容**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 委員報酬等 | | | 367 |
| 史跡快天山古墳保存整備委員等（7人） | | | |
| 業務委託料 | | | 11,954 |
| 地形測量業務委託料 | | 1,298 | |
| 発掘作業業務派遣委託料 | | 248 | |
| 3号石棺蓋取上げ・調査委託料 | | 9,984 | |
| その他 | 3件 | 424 | |
| 工事費 | 1件 | | 286 |
| 事務費等 | | | 109 |

**事業の成果・課題**

3号石棺蓋の取上げ及び3号石棺身の調査を実施し、石棺の保存状態や石材加工の痕跡を確認するとともに、粘土棺床と粘土被覆からなる埋葬施設の構造を改めて確認するなど、史跡の本質的価値の解明につながる重要な成果を得ることができた。また、これらの発掘調査に基づいて開催した市民説明会には多くの参加者が集まり、本古墳に対する理解と関心を一層高めることができた。

（単位：千円）

| 19 | 事業名 | 市指定文化財整備事業費 | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 569 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 569 |
| R6 | 604 | 0 | 0 | 0 | | 569 | 執行率 |
| R5 | 9,221 | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀市指定文化財の適切な保護を図るため、保存修理等を行い、市指定文化財の普及啓発に努める。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 市指定文化財保存修理事業補助金 | 1件 | 539 |
| 事務費等 | | 30 |

**事業の成果・課題**

本年度は、本島町泊地区にある千歳座の保存修理事業について補助を実施した。今後も引き続き、文化財の適切な保存と活用に努めていく。

| 20 | 事業名 | 市指定文化財整備事業費（繰越明許費） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 52,974 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 53,063 |
| R6 | — | 0 | 0 | 0 | | 52,974 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | | 99.83 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀市指定文化財の適切な保護を図るため、保存修理等を行い、市指定文化財の普及啓発に努める。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 委託料 | 2,883 |
| 建設工事関連委託料 | |
| 工事費 | 50,091 |

**事業の成果・課題**

主にシロアリ被害による損傷を受けていた市指定文化財「夫婦倉」（有形文化財・建造物）の保存修理工事を実施した。本工事は、工事着手後に主要構造部及び海鼠壁の著しい劣化が判明し、その修理に不測の期間を要したため、前年度から繰り越して実施し、完了した。今後も引き続き、文化財の適切な保存及び活用に努める。

（単位：千円）

| 21 | 事業名 | 丸亀城石垣保全整備事業費（公共） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 31,296 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 31,299 |
| R6 | 36,164 | 15,648 | 0 | 0 | | 15,648 | 執行率 |
| R5 | 11,634 | | | | | | 99.99 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀城石垣の適切な保全を行うための調査や対策の検討を行い、有効な対策を実施する。

**実施事業の内容**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 報酬等 | | | 207 |
| 史跡丸亀城跡調査整備委員（7人） | | | |
| 委託料 | | | 4,070 |
| 建設工事関連委託料 | 1件 | 4,070 | |
| 工事費 | 3件 | | 27,019 |

**事業の成果・課題**

三の丸北東部において雨水排水機能の向上を図るため地表面の舗装を実施し、本丸では既存排水路の改修工事を実施した。また、三の丸北部では排水整備に係る設計業務を行った。今後も計画的に城内の雨水排水対策を推進し、石垣の保全に努めていく。

| 22 | 事業名 | 丸亀城石垣保全整備事業費（単独） | | | | 担当課 | 文化財保存活用課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 4,000 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 4,000 |
| R6 | 2,683 | 0 | 0 | 0 | | 4,000 | 執行率 |
| R5 | 1,969 | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

丸亀城石垣の適切な保全を行うための調査や対策の検討を行い、有効な対策を実施する。

**実施事業の内容**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 委託料 | | | 751 |
| 建設工事関連委託料 | 2件 | 751 | |
| 工事費 | 5件 | | 3,249 |

**事業の成果・課題**

三の丸北東部の舗装工事の前段で漏水の恐れがある古い配水管の更新や電気配管を設置する等、本体工事のスムーズな進捗に努めた。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 5 | 社会教育費 | 目 | 15 | 学習センター費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 学習センター施設管理運営費 | | | | 担当課 | まなび文化課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 40,866 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 使用料等 | 一般財源 | 41,290 |
| R6 | 89,791 | 0 | 0 | 0 | 713 | 40,153 | 執行率 |
| R5 | 93,480 | | | | | | 98.97 % |

**事業の趣旨・目的**

生涯学習を総合的に推進するため、その中核的施設である「生涯学習センター」と「飯山総合学習センター」の管理運営を行う。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 生涯学習センター光熱水費 | | 3,701 |
| 施設管理委託料 | | 35,867 |
| 飯山総合学習センター指定管理委託料 | 25,700 | |
| 生涯学習センター管理運営委託料 | 10,167 | |
| 広報用品製作業務委託料 | | 50 |
| 土地借上料 | | 504 |
| 修繕料等 | | 702 |
| 事務費等 | | 42 |

生涯学習センター利用状況　（令和7年度開館日数61日）

| 施　設　名 | 利用件数 | 利用人数 |
|---|---|---|
| ギャラリー・ホール・講座室等 | 606件 | 15,921人 |

飯山総合学習センター利用状況　（令和7年度開館日数303日）

| 施　設　名 | | 利用件数 | 利用人数 |
|---|---|---|---|
| 1階 | 香川放送大学丸亀教室 | 322件 | 970人 |
| | 学習室 | 327件 | 6,200人 |
| | 児童施設遊戯室・集会場 | 325件 | 10,899人 |
| | ロビー展示コーナー | 189件 | 4,032人 |
| 2階 | 研修室 | 619件 | 12,233人 |
| | 調理室 | 87件 | 1,440人 |
| | 和室 | 357件 | 3,418人 |
| 合　計 | | 2,226件 | 39,192人 |

**事業の成果・課題**

生涯学習センターについては、昭和49年の開館以来、市民の生涯学習活動や子どもたちの健やかな成長の場として重要な役割を果たしてきた。施設の閉館に際しては、利用者の継続的な利用機会の確保を図るため、閉館時期を2カ月延長して運営を行うとともに、思い出写真展などのイベントを実施した。令和7年5月末に開催したセレモニーには多くの市民が参加し、利用者に惜しまれながら閉館した。

飯山総合学習センターについては、生涯学習センター閉館後の市の中核的な生涯学習拠点として、その役割が一層重要となる中、適切な施設運営を行い、市民の学習活動の場として学習機会の提供に努めた。今後は、第5次丸亀市生涯学習推進計画に基づき、指定管理者と連携しながら、生涯学習拠点としての機能強化に取り組む。

なお、施設の老朽化が進行していることから、長寿命化計画に基づく改修を進めていく必要があるため、他施設の状態や財政状況も踏まえながら、利用者の安全・安心を最優先に、適切な維持管理と改修を行い、施設の長寿命化を図っていく。

（単位：千円）

| 2 | 事業名 | 生涯学習センター代替施設費 | | | | 担当課 | まなび文化課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 25,248 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 諸収入 | 一般財源 | 27,682 |
| R6 | 1,197 | 0 | 0 | 0 | 1 | 25,247 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | | 91.21 % |

**事業の趣旨・目的**

生涯学習センター廃止に伴い、新市民会館開館まで代替施設の管理運営を行い、生涯学習等の活動場所を提供する。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 代替施設光熱水費・通信運搬費等 | 1,662 |
| 施設管理委託料（生涯学習センター代替施設管理運営業務委託料） | 17,705 |
| 業務委託料（代替施設準備等） | 772 |
| ギャラリー借上料 | 3,762 |
| 駐車場借上料 | 1,347 |

※生涯学習センター代替施設利用状況

| 施設名 | 利用件数 | 利用人数 | 開館日数 |
|---|---|---|---|
| まなび舎土居 | 487件 | 3,744人 | 266日 |
| まちなかギャラリー | 19件 | 1,910人 | 83日 |

**事業の成果・課題**

生涯学習センターの閉館に伴い、代替施設として、諸室利用の場である「まなび舎土居」と展示発表の場である「まちなかギャラリー」を開設し、市民の継続的な学習活動や文化芸術活動の場を確保した。

| 3 | 事業名 | 生涯学習センター施設整備費 | | | | 担当課 | まなび文化課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 208,871 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 208,873 |
| R6 | 2,365 | 24,750 | 0 | 0 | | 184,121 | 執行率 |
| R5 | — | | | | | | 100.00 % |

**事業の趣旨・目的**

大手町地区4街区の再編整備に伴い、生涯学習センターの解体を実施する。また、新市民会館開館までの間、代替施設の整備を行い、市民のまなびの場を確保する。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 生涯学習センター解体事業費 | | 202,637 |
| 近隣建物外壁事前調査業務委託料 | 342 | |
| 工事費 | 202,295 | |
| 生涯学習センター代替施設整備事業費 | | 6,234 |
| インターネット回線設定等変更業務委託料 | 13 | |
| 工事費 | | |
| まなび舎土居便所改修工事等 | 5,644 | |
| まちなかギャラリーピクチャーレール設置工事等 | 577 | |

**事業の成果・課題**

生涯学習センター解体事業については、安全管理や周辺環境への配慮、進捗管理を行いながら、工程どおり適切に進行した。

生涯学習センター代替施設整備事業費については、生涯学習クラブ等の活動継続に必要な機能の確保を図るとともに、便所の改修工事やピクチャーレールの設置工事等を実施し、所要の施設整備を完了した。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 6 | 保健体育費 | 目 | 1 | 保健体育総務費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 2 | 事業名 | 生涯スポーツ推進事業費 | | | | 担当課 | スポーツ推進課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 54,315 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 使用料等 | 一般財源 | 54,891 |
| R6 | 52,453 | 0 | 740 | 0 | 3,818 | 49,757 | 執行率 |
| R5 | 53,476 | | | | | | 98.95 % |

**事業の趣旨・目的**

生涯スポーツ活動の普及や競技力の向上を推進するため、各種スポーツ関係団体との連携を深めるとともに、市民がスポーツに参加しやすい環境づくりに努める。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 市民体育推進費 | 15,727 |
| 国際・全国大会等スポーツ競技大会出場報奨金（129人） | 481 |
| スケートボード教室開催事業費 | 840 |
| 初心者スポーツ教室開催事業費 | 109 |
| 運動遊び指導員派遣事業費 | 144 |
| まるっこフェス開催事業費 | 285 |
| 第35回ふるさと健康ウォークin丸亀開催事業費 | 87 |
| ソフトボール教室開催業務委託料 | 300 |
| 瀬戸内定住自立圏域内「ウォーキングマップ」作成事業費 | 681 |
| 第51回中讃地区陸上競技大会開催業務委託料 | 150 |
| 第78回香川丸亀国際ハーフマラソン大会補助金 | 12,000 |
| 丸亀武道の祭典補助金（剣道体験教室） | 80 |
| 第52回日独スポーツ少年団同時交流受入事業補助金 | 500 |
| 事務費等 | 70 |
| 市民体育祭開催費 | 1,615 |
| 市民体育祭開催業務委託料 | 1,615 |
| スポーツ協会育成費 | 35,030 |
| スポーツ協会育成補助金 | 6,130 |
| スポーツ協会運営補助金 | 28,900 |
| 体育施設開放事業費 | 1,943 |
| 学校体育施設開放運営委員会管理委託料 | 1,902 |
| クラウドシステム使用料 | 41 |

・各種大会・事業の実施状況

| 大会・事業名 | 参加者数（人） |
|---|---|
| 第78回香川丸亀国際ハーフマラソン大会 | 11,593 |
| チャレンジウィーク2025 | 2,154 |
| 初心者スポーツ教室（5教室） | 延347 |
| 第51回中讃地区陸上競技大会 | 500 |
| 第70回丸亀市民体育祭 | 994 |
| まるっこフェス | 389 |
| 第35回ふるさと健康ウォークin丸亀 | 153 |
| 剣道体験教室 | 20 |

（単位：千円）

・丸亀市体協婦人部活動の実施状況

| 大　会　・　事　業　名 | 参加者数（人） |
|---|---|
| 夏季体育大会 | 151 |
| 秋季球技大会 | 109 |
| 健康づくりバスハイク開催事業 | 延226 |
| 冬季健康づくり推進事業特別編 | 131 |

・少年スポーツ活動の状況

| 大会・事業名 | 教室数 | 参加者数(人) |
|---|---|---|
| 少年スポーツ教室開催事業 | 60 | 延10,884 |

・スポーツ少年団登録状況

| 加盟校区数 | 加盟種目数 | 団数 | 団員数 | 指導者数 | 役員・スタッフ数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 13 | 60 | 1,307 | 185 | 89 |

・学校体育施設開放事業の利用状況

| | 学校名 | 登録団体 | 延利用者数 |
|---|---|---|---|
| 小学校 | 城　乾 | 7 | 5,445 |
| | 城　坤 | 10 | 11,272 |
| | 城　北 | 11 | 11,366 |
| | 城　西 | 11 | 19,493 |
| | 城　南 | 10 | 10,264 |
| | 城　東 | 13 | 9,280 |
| | 城　辰 | 17 | 13,623 |
| | 郡　家 | 22 | 19,049 |
| | 飯　野 | 13 | 13,551 |
| | 垂　水 | 12 | 7,574 |
| | 広　島 | 1 | 212 |
| | 富　熊 | 9 | 5,974 |
| | 岡　田 | 9 | 4,080 |
| | 飯山南 | 5 | 5,514 |
| | 飯山北 | 8 | 7,824 |
| 小学校計 | | 158 | 144,521 |

| | 学校名 | 登録団体 | 延利用者数 |
|---|---|---|---|
| 中学校 | 東 | 8 | 3,523 |
| | 西 | 15 | 7,406 |
| | 南 | 12 | 9,390 |
| | 綾　歌 | 16 | 7,212 |
| | 飯　山 | 12 | 10,114 |
| 中学校計 | | 63 | 37,645 |

合　計　221　団 182,166　人

**事業の成果・課題**

住民参加型イベントとして「チャレンジウィーク」「香川丸亀国際ハーフマラソン大会」「ふるさと健康ウォークin丸亀」等を開催するとともに、未就学児向けの運動遊びイベント「まるっこフェス」を実施し、年代や性別などを問わず、誰もがスポーツに参加しやすい環境整備に取り組んだ。

（単位：千円）

| 款 | 10 | 教育費 | 項 | 6 | 保健体育費 | 目 | 3 | 学校給食センター費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 事業名 | 学校給食センター管理運営費 | | | | 担当課 | 学校給食センター |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 594,290 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | | 一般財源 | 607,442 |
| R6 | 568,351 | 0 | 0 | 0 | | 594,290 | 執行率 |
| R5 | 579,569 | | | | | | 97.83 % |

**事業の趣旨・目的**

安全安心な学校給食を提供するため、給食センター4施設を維持管理し、適切な衛生管理を図るとともに、異物混入や食中毒対策など食の安全性を確保しながら、子どもたちに正しい食に関する知識と望ましい食習慣を育んでいく。

**実施事業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 学校給食センター施設費 | | 157,957 |
| 学校給食センター運営費 | | 436,333 |
| 職員給与等 | 133,080 | |
| 会計年度任用職員報酬等（38人） | 91,632 | |
| 中央及び飯山学校給食センター調理等業務委託料 | 194,410 | |
| 学校給食管理システム保守業務委託料 | 528 | |
| 配送業務委託料 | 6,469 | |
| その他 | 10,214 | |

事業の実績

・給食実施回数及び食数

| | 中央 | | 第二 | | 本島 | | 飯山 | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 回数 | 食数 | 回数 | 食数 | 回数 | 食数 | 回数 | 食数 | 食数 |
| 幼稚園 | 195 | 18,284 | 188 | 12,586 | — | — | — | — | 30,870 |
| こども園 | 229 | 39,104 | — | — | — | — | 190 | 23,558 | 62,662 |
| 小学校 | 198 | 456,434 | 198 | 451,949 | 193 | 2,237 | 197 | 260,780 | 1,171,400 |
| 中学校 | 195 | 293,200 | 195 | 149,245 | 190 | 2,442 | 181 | 78,570 | 523,457 |
| センター | 232 | 7,940 | 198 | 7,912 | 194 | 582 | 198 | 5,112 | 21,546 |
| 計 | — | 814,962 | — | 621,692 | — | 5,261 | — | 368,020 | 1,809,935 |

・アレルギー対応給食実施状況

「丸亀市食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、中央及び第二学校給食センターで代替食及び除去食を実施している。

実施対象食品　　鶏卵、牛乳、果物（キウイ・メロン・バナナ）
実施校数　　20校　（小学校 11校　中学校 5校　こども園 2園　幼稚園 2園）
実施児童数　　66名　（小学校 43名　中学校 18名　こども園 2名　幼稚園 3名）

・有機農産物の利用状況

有機給食の実施

12月8日（小学校17校　中学校7校　幼稚園3園　こども園3園　保育所5園）
2月4日（小学校10校　中学校4校　幼稚園2園　こども園3園）
2月6日（小学校7校　中学校3校　幼稚園1園）

登録有機生産者数　　8件（市内3件　県内5件）

・残菜率　　（単位：％）

| | 中央 | | | 第二 | | | 本島 | | 飯山 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 幼稚園<br>こども園 | 小学校 | 中学校 | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 小学校 | 中学校 | こども園 | 小学校 | 中学校 |
| 年平均 | 5.9 | 8.0 | 4.3 | 4.6 | 4.5 | 9.1 | 0.5 | 0.2 | 4.7 | 4.6 | 4.2 |

※食品残渣発酵分解装置への食品残渣及び残菜投入量　約44ｔ

・丸亀市学校給食センター運営委員会
【委嘱期間】令和7年6月1日～令和8年5月31日
【 開催日 】令和7年7月7日

**事業の成果・課題**

子どもたちに安全安心でおいしい学校給食を円滑に提供するとともに、異物混入などが起きないように衛生・安全管理を徹底している。また、望ましい食習慣の形成と、日本の伝統的な食文化である「和食」の継承を目的とした米飯給食や、有機農産物を利用した有機給食などに取り組んでいる。さらに、食品残渣を堆肥化し、地産農家へ配布して循環型社会の形成に取り組んだ。

| 2 | 事業名 | 学校給食費公会計事業費 | | | | 担当課 | 学校給食センター |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | | 予算現額 |
| R7 | 649,822 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 学校給食費等 | 一般財源 | 662,682 |
| R6 | 604,104 | 3,087 | 45,084 | 0 | 94,780 | 506,871 | 執行率 |
| R5 | 569,137 | | | | | | 98.06　% |

**事業の趣旨・目的**

給食物資については、良質、安全、安価な物資を適正に調達するため、丸亀市学校給食物資選定委員会を毎月開催する。また、日々の給食物資の荷受けに当たっては、品質や鮮度などの検収体制の強化に努める。
学校給食費の徴収については、保護者負担の公平性の原則に立ち、滞納者への納付促進に努める。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 会計年度任用職員報酬等（3人） | 10,677 |
| 賄材料費 | 435,178 |
| 香川県給食会負担金（パン、牛乳） | 196,949 |
| 中讃広域行政事務組合負担金 | 3,587 |
| その他 | 3,431 |

・丸亀市学校給食物資選定委員会　　毎月10日前後に開催（翌月の学校給食物資の選定）

・令和7年度給食費等支援補助金の状況

| 補助要件 | 対象者（人） | 支給額（円） |
|---|---|---|
| 特別支援学校 | 29 | 1,015,117 |
| アレルギー対応（弁当等） | 6 | 233,416 |
| 合　計 | 35 | 1,248,533 |

・滞納給食費の徴収状況（学校給食費無償化以前分）

| 調定額（円） | 徴収済額（円） | 未納額（円） | 徴収率（%） |
|---|---|---|---|
| 1,194,940 | 97,770 | 1,097,170 | 8.18 |

（単位：千円）

**事業の成果・課題**

学校給食費は、令和4年12月から継続して無償化を実施している。また、令和5年度から給食費等支援補助金制度を設け、特別支援学校に通う児童生徒及びアレルギー等により弁当を持参している児童生徒に補助金を交付した。
学校給食物資の調達については、毎月開催している丸亀市学校給食物資選定委員会で良質かつ安価で安全性の高い物資を選定し、職員の立会いによる日々の荷受けでは、鮮度と品質等の確認を実施している。今後は、有機食材等の供給体制の強化を図っていく。
無償化以前の滞納給食費の徴収については、催告書での納付や分割納付等により、納付促進につなげた。

| 3 | 事業名 | 学校給食センター施設等整備費（単独事業） | | | 担当課 | 学校給食センター |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | 予算現額 |
| R7 | 22,213 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 一般財源 | 24,518 |
| R6 | 8,036 | 0 | 0 | 0 | 22,213 | 執行率 |
| R5 | 1,848 | | | | | 90.60 % |

**事業の趣旨・目的**

安全安心な学校給食を提供するために、施設や設備の改修や更新を適切に進める。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 飯山学校給食センターコンビオーブン購入事業費 | 4,840 |
| 飯山学校給食センター自動中型充填機購入事業費 | 6,985 |
| 飯山学校給食センター自動反転ほぐし機購入事業費 | 4,598 |
| 本島学校給食センター調理室空調設備整備事業費 | 5,790 |

**事業の成果・課題**

充填機などの炊飯システム機器やコンビオーブンの更新により、衛生・安全管理の向上と、安心で安定した給食の提供につながっている。
本島学校給食センターは、調理室に空調機を設置し、夏季の労働環境の改善と調理環境の適正化を図った。
施設や設備については、引き続き定期的に点検を実施し、計画的な改修や更新を進めていく。

| 4 | 事業名 | 第二学校給食センター施設整備事業費 | | | 担当課 | 学校給食センター |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 | | 事業の財源内訳（基金は一般財源に含む） | | | | 予算現額 |
| R7 | 54,203 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | 一般財源 | 55,027 |
| R6 | — | 0 | 0 | 0 | 54,203 | 執行率 |
| R5 | 14,734 | | | | | 98.50 % |

**事業の趣旨・目的**

第二学校給食センターの老朽化に伴い新センターを建設するにあたり、施設整備・運営等業務を一括発注するDBO方式で業務委託する。

**実施事業の内容**

| | |
|---|---|
| 新第二学校給食センター整備運営事業アドバイザリー業務委託料 | 24,002 |
| 土地購入費 | 28,183 |
| その他 | 2,018 |

**事業の成果・課題**

DBO方式による整備運営事業の受注者を公募型プロポーザル方式で選定するに当たり、アドバイザリー業務委託により、事業者選定に必要な書類の作成支援及び専門的・技術的な助言を受け、学識経験者を含む選定委員会にて受注者を選定し、令和7年12月に契約を締結した。
建設計画地は、土地開発公社からの買戻しを行い、整備に向けて確保した。